

製品マニュアル

—

RX1225RP

Synology

目次

第1章：はじめる前に	2
1.1 パッケージ内容	2
1.2 Synology RX1225RP の概要	3
1.3 LED インジケータ テーブル	4
1.4 ハードウェア仕様	5
1.5 交換部品	6
1.6 オプションアクセサリ	7
第2章: ハードウェアコンポーネントのインストール	8
2.1 推奨ツール	8
2.2 注意事項	8
2.3 安全指示	10
2.4 ドライブのインストール	12
2.5 レールキットの取り付けと取り外し	15
2.6 Synology NAS との接続	26
第3章: システムメンテナンス	29
3.1 システムファンの交換	29
3.2 電源ユニット (PSU) の交換	31
第4章: トラブルシューティング	33
4.1 トラブルシューティング チェックリスト	33
4.2 一般的な問題の解決	34
4.3 Synology テクニカル サポートに連絡する前に	40
4.4 Synology テクニカル サポートへの連絡	41
4.5 情報、ヘルプ、およびサービスの取得	41

第1章：はじめる前に

この Synology 製品をご購入いただきありがとうございます！新しい拡張ユニットをセットアップする前に、以下のアイテムがすべて揃っているか、パッケージ内容を確認してください。また、安全指示をよく読んで、自己や拡張ユニットを損傷しないようにしてください。

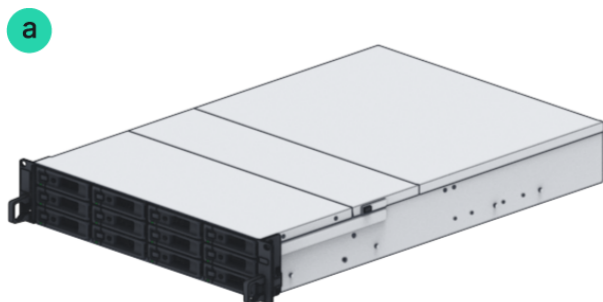
注：

- 以下のすべての画像は説明目的のみであり、実際の製品とは異なる場合があります。

1.1 パッケージ内容

以下のアイテムがパッケージに含まれていない場合は、販売店に連絡してください：

メインユニット x 1



AC 電源コード x 2



拡張ケーブル x 1

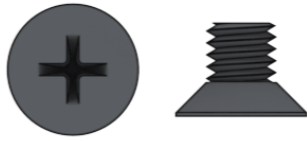


3.5 インチドライブ用ネジ x 52

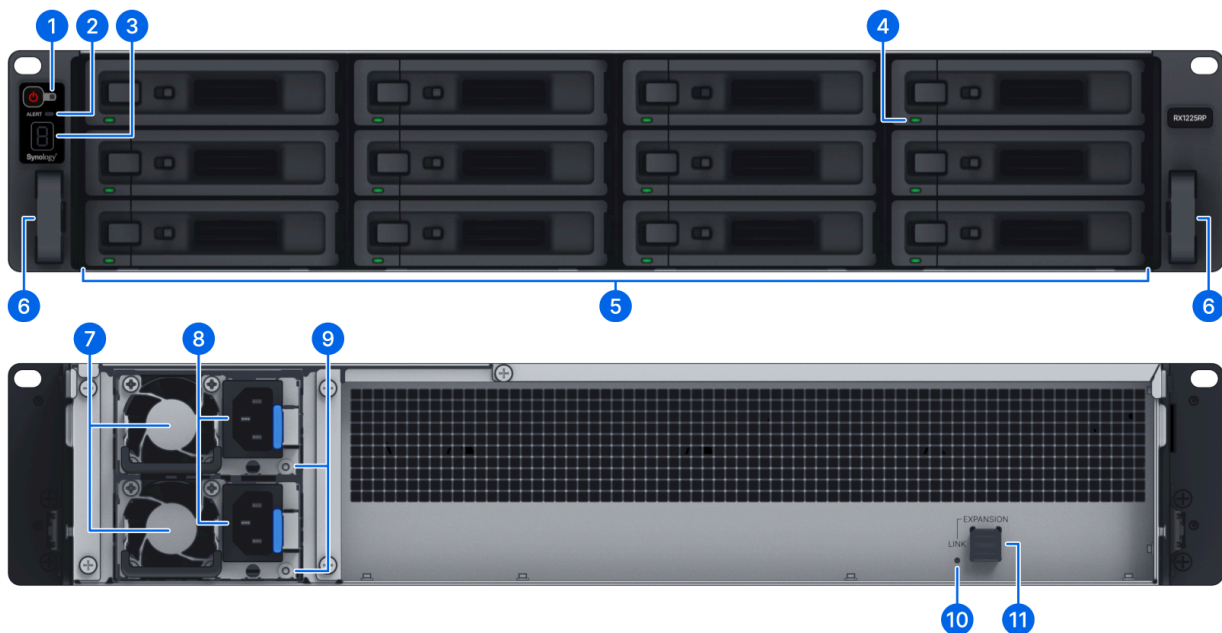


2.5 インチドライブ用ネジ x 52

e



1.2 Synology RX1225RP の概要



番号	名前	説明
1	電源インジケータ	電源の状態を表示します。 ¹ 詳細については、" LED インジケータ テーブル "を参照してください。
2	警告インジケータ	ファンや温度に関する警告を表示します。詳細については、" LED インジケータ テーブル "を参照してください。
3	拡張ユニット ID インジケータ	拡張ユニットの ID 番号を表示します。
4	ドライブステータスインジケータ	ドライブの状態を表示します。詳細については、" LED インジケータ テーブル "を参照してください。
5	ドライブトレイ	ここにドライブ (ハードディスクドライブまたはソリッドステートドライブ) を取り付けます。

6	レールキットリ リースタブ	押し込んで保持すると、RX1225RP をレールキットのロックから解除 できます。
7	PSU ファン	余分な熱を排出し、PSU を冷却します。
8	電源ポート	ここに電源コードを接続します。
9	PSU インジケー タ	電源供給ユニット (PSU) の状態を表示します。詳細について は、" LED インジケータ テーブル "を参照してください。
10	リンクインジ ケータ	拡張ユニットとメイン Synology NAS 間のリンクの状態を表示しま す。詳細については、" LED インジケータ テーブル "を参照してくだ さい。
11	拡張ポート	ここで Synology NAS に接続します。 ²

注：

1. 詳細については、"[Synology NAS との接続](#)"を参照してください。
2. Synology NAS がサポートする Synology 拡張ユニットの詳細については、[Synology 製品
互換性リスト](#)を参照してください。

1.3 LED インジケータ テーブル

LED インジケータ	色	ステータス	説明
電源	青	静止	電源がオンで、アップリンクが接続されて います
		点滅	電源がオンで、アップリンクが切断されて います
	オフ		電源オフ

ドライブステータスインジケータ (トレイ上)	緑	静止	ドライブ準備完了およびアイドル
		点滅	ドライブにアクセス中
	オレンジ ¹	静止	ドライブを見つける
			ユーザーによってドライブが無効化されました
			ポートが無効 ²
			ドライブの健康状態が重大または失敗しています
オフ		内部ドライブなし	
警告	オレンジ	点滅	システムエラー ³
	オフ		システム正常
PSU インジケータ	緑	静止	電源供給ユニット正常
	オフ		電源供給ユニットオフ
リンクインジケータ	緑	静止	Synology NAS 接続済み
	オフ		Synology NAS 切断済み

注：

1. ドライブ LED インジケータがオレンジの場合、DSM にサインインして **ストレージ マネージャ > HDD/SSD** に移動して詳細情報を確認することをお勧めします。
2. Synology NAS を再起動するか、ドライブを再挿入してみてください。問題が解決しない場合は、[この記事](#)を参照して解決してください。
3. **警告 LED** がオレンジで点滅し続ける場合、ファンの故障、システムの過熱、またはボリュームの劣化などのシステムエラーを示しています。詳細情報を確認するには DSM にサインインしてください。

1.4 ハードウェア仕様

項目	RX1225RP
ドライブタイプ	3.5"/2.5" SATA x 12
外部ポート	拡張 x 1

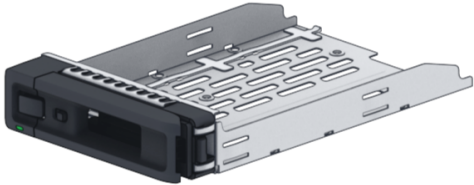
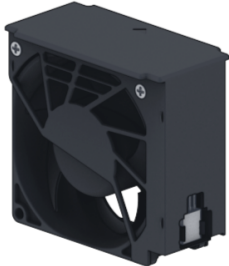
サイズ (H x W x D) (mm)	• 88 × 430.5 × 692 • 88 × 482 × 724 (サーバーイヤー付き)
重量 (kg)	13.9
機関認証	• FCC Class A • CE Class A • UKCA • BSMI Class A • EAC • VCCI • RCM • KC • UL • RoHS 準拠
環境要件	• 線電圧: 100V から 240V AC • 周波数: 50 / 60Hz • 動作温度: 32°F から 95°F (0°C から 35°C) • 保管温度: -5°F から 140°F (-20°C から 60°C) • 相対湿度: 5% から 95% RH

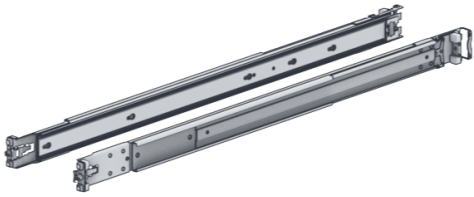
注：

- モデル仕様は予告なく変更されることがあります。最新情報については[Synology ウェブサイト](#)をご覧ください。

1.5 交換部品

システムファン、ディスクトレイ、または電源ユニットを交換する必要がある場合は、[交換部品](#)をご覧ください。

モデル名	画像	説明
ディスクトレイ (タイプ R7)		3.5"/2.5" ドライブトレイ
ファン 80*80*32_6		システムファン 80*80*32 mm

PSU 550W-RP モジュール _1		冗長 PSU モジュール 550W
RKS-02 ¹		スライディングレールソ リューション
ケーブル MiniSASHD_EXT_3		外部 MiniSAS HD ケーブル 100 cm

注：

1. 詳細情報については「[レールキットの取り付けと取り外し](#)」を参照し、慎重にレールキットを取り付けてください。

1.6 オプションアクセサリ

Synology アクセサリを使用すると、互換性や安定性を心配することなく、さまざまなビジネス環境に合わせて拡張ユニットをカスタマイズできます。詳細については[Synology 製品互換性リスト](#)をご覧ください。

第2章: ハードウェアコンポーネントのインストール

2.1 推奨ツール

このセクションでは、インストール手順で使用される必須およびオプションのツールを一覧にしています。

- フィリップス #2 ドライバー (クロス先端付き)
- 少なくとも1つの3.5インチまたは2.5インチのSATAドライブ ([互換モデルはこちら](#))

注意：

- データが含まれているドライブをインストールすると、システムはドライブをフォーマットし、すべての既存データを消去します。インストール前に重要なデータをバックアップしてください。

注記：

- 自動ドライバーを使用する場合は、トルク値を4.0 (+/-0.3) kgf-cmに設定してください。

2.2 注意事項

拡張ユニットにコンポーネントをインストールまたは取り外す前に、すべての安全情報を確認してください。

注意：

- 拡張ユニット内に緩んだネジを放置すると、コンポーネントに深刻な損傷を与える可能性があります。ペーパークリップやヘアピンなどの金属物を拡張ユニットに落とさないようにしてください。
- ケーブルを取り外す際に、コネクタやプルタブを引っ張らないでください。特定のケーブルには、取り外す前にロックタブやサムスクリューを解除する必要があるコネクタがあります。ケーブルを取り外す際は、コネクタピンが曲がらないように均等に整列させてください。ケーブルを接続する際は、ポートとコネクタが正しく向き合い、整列していることを確認してください。
- 拡張ユニットを移動する必要がある場合は、誰かに手伝ってもらってください。怪我を防ぐために、一人で持ち上げようとしないでください。
- オプションのハードウェアコンポーネントをインストールする前に、拡張ユニットが正しく動作していることを確認してください。拡張ユニットが正しく動作していない場合は、基本的なトラブルシューティングを行うために「[トラブルシューティング](#)」章を参照してください。問題が解決しない場合は、「[情報、ヘルプ、およびサービスの取得](#)」セクションを参照してください。
- システムコンポーネント（PCIeカード、メモリモジュール、システムボードなど）は、常にエッジやフレームを持って慎重に取り扱ってください。はんだ接合部、ピン、露出した回路には触れないでください。
- 部品やその他のコンポーネント（PCIeカード、メモリモジュール、システムボードなど）を拡張ユニットのトップカバーや他の金属表面に置かないでください。
- 特定の拡張ユニットのみがコンポーネントのホットスワップをサポートしており、電源が入っている間に安全に動作するように設計されています。

拡張ユニット内で作業する前に

1. 拡張ユニットとすべての接続された周辺機器の電源をオフにします。
2. 拡張ユニットを電源コンセントから切り離し、周辺機器を切断します。

拡張ユニット内での作業後

1. 周辺機器を再接続し、拡張ユニットを電源コンセントに接続します。
2. 接続された周辺機器の電源を入れ、その後拡張ユニットの電源を入れます。

静電気放電の防止

指や他の導体からの静電気放電は、システムの停止、データの損失、またはシステムボードや他の静電気に敏感なコンポーネントへの損傷を引き起こす可能性があります。この種の損傷は、拡張ユニットの寿命を短くする可能性もあります。

以下の方法で静電気への露出を防ぎます：

- ハードウェアコンポーネントを静電気防止容器で輸送および保管することで、手での接触を避けます。
- 静電気に敏感なハードウェアコンポーネントは、静電気のない作業場に到着するまで容器に入れておいてください。
- ハードウェアコンポーネントを容器から取り出す前に、接地された表面に置くか、触れてください。
- 接合部、ピン、リード、または回路に触れないでください。
- 静電気に敏感なハードウェアコンポーネントやアセンブリに触れる際は、常に適切に接地してください。
- ハードウェアコンポーネントを取り扱う際は、エッジやフレームを持って慎重に扱ってください。
- 静電気放電防止リストストラップや他の接地システムを使用してください。拡張ユニットは静電気防止マット（ESDマット）に置くべきです。
- 拡張ユニットは、電源がオフになっていてもAC電源に接続されているときに待機電力を供給します。この状態で導体に誤って触れ、部品が短絡すると、拡張ユニットに損傷を与える可能性があります。トップリアカバーを取り外す前に、AC電源が切断されていることを確認してください。

2.3 安全指示



- 直射日光や化学物質を避けてください。温度や湿度の急激な変化のない安定した環境を確保してください。



- ユニットは常に正しい向きで設置してください。



- ユニットを液体から遠ざけてください。



- 清掃する前に、電源コードを抜き、湿った布で表面を拭いてください。化学エアゾールクリーナーは使用しないでください。



- ユニットが倒れないように、カートや不安定な表面に置かないでください。



- この製品をセットアップする際は、Synologyが提供または指定したケーブル、電源コード、PSU、および電源アダプタのみを使用し、地域の規制および安全要件に準拠してください。電源コードが正しい電源電圧に接続され、提供されるAC電圧が正しく安定していることを確認してください。これを怠ると、故障や火災の原因となる可能性があります。
- Synologyが提供するアクセサリを非Synology製品に使用しないでください。



- 警告、感電の危険があります。デバイスからすべての電流を取り除くには、すべての電源コードが電源から切断されていることを確認してください。



- バッテリーを不適切なタイプに交換すると、爆発の危険があります。使用済みのバッテリーは適切に処分してください。



- 電源コードは、接地接続のあるコンセントに差し込む必要があります。



- 動いているファンから体の部位を遠ざけてください。



- この製品は、制限されたアクセス場所（例：専用機器室、サービスクローゼットなど）で資格のある人員によって設置される必要があります。

システム信頼性ガイドライン

適切なシステム冷却と信頼性を保証するために、以下のシステム信頼性ガイドラインに従ってください。

- 拡張ユニットの冷却システムが正常に機能するように、周囲に十分なスペースを確保してください。拡張ユニットの前後に約50mm（2インチ）の空きスペースを確保してください。ファンの前に物を置かないでください。
- 適切な冷却と気流のために、電源を入れる前に拡張ユニットのカバーを取り付けてください。カバーなしで拡張ユニットを操作すると、拡張ユニットのコンポーネントが損傷する可能性があります。
- 拡張ユニットにエアダクトやエアパッフルがある場合、拡張ユニットが動作中にそれらを取り外さないでください。エアダクトやエアパッフルなしで拡張ユニットを操作すると、システムが過熱する可能性があります。
- システムの電源が入っている間に拡張ユニットのトップカバーを開けたり取り外したりすると、感電の危険があります。

- トップカバーなしで拡張ユニットの電源を入れる必要がある場合は、誰も拡張ユニットの近くにいないこと、また中に工具や他の物が残されていないことを確認してください。拡張ユニットのカバーなしでシステムを5分以上操作しないでください。
- ホットスワップドライブを交換する際は、新しいホットスワップドライブをできるだけ早くインストールしてください。
- ドライブに変更を加える前に、すべての重要なデータをバックアップしてください。

2.4 ドライブのインストール

ドライブのインストールには、以下の手順に従ってください：

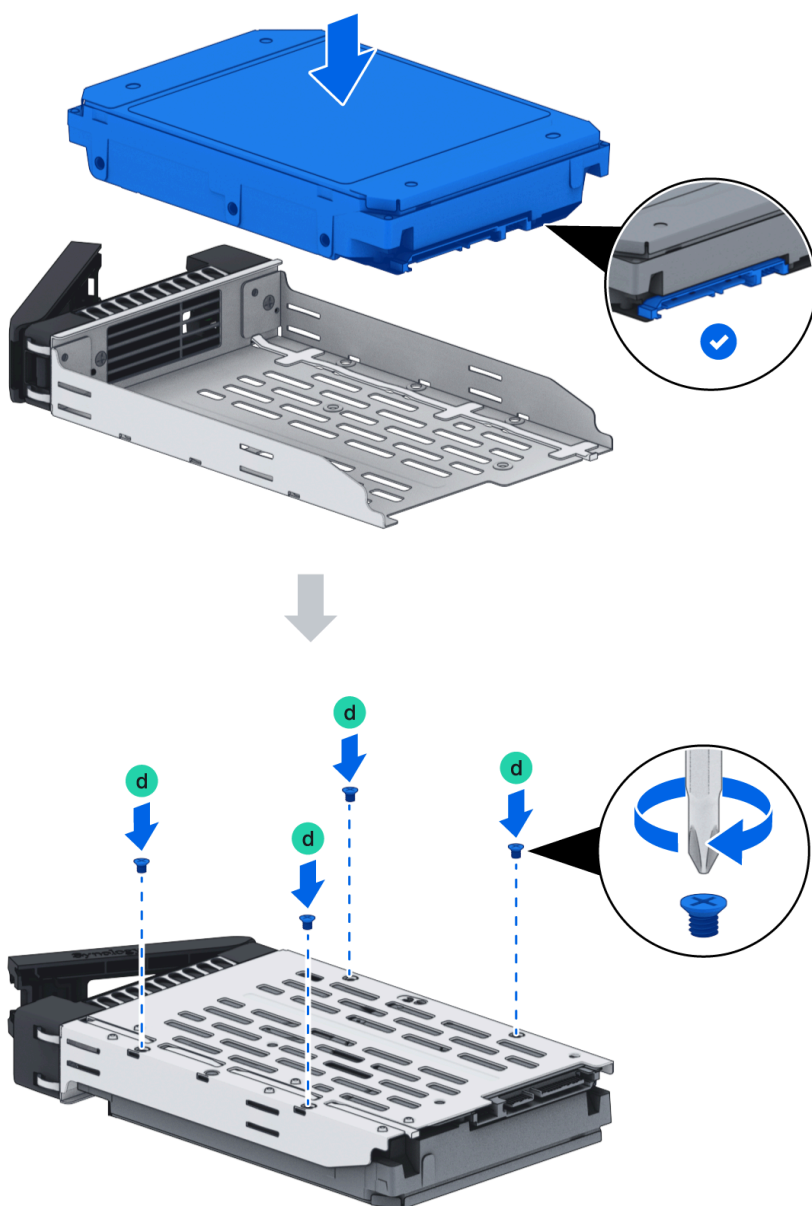
1. ドライブトレイを開きます。

- ドライブトレイハンドルの左側にある小さなボタンを見つけます。
- ボタンを押し下げると、ドライブトレイハンドルが飛び出します。以下の図のようにドライブトレイハンドルを引き出します。

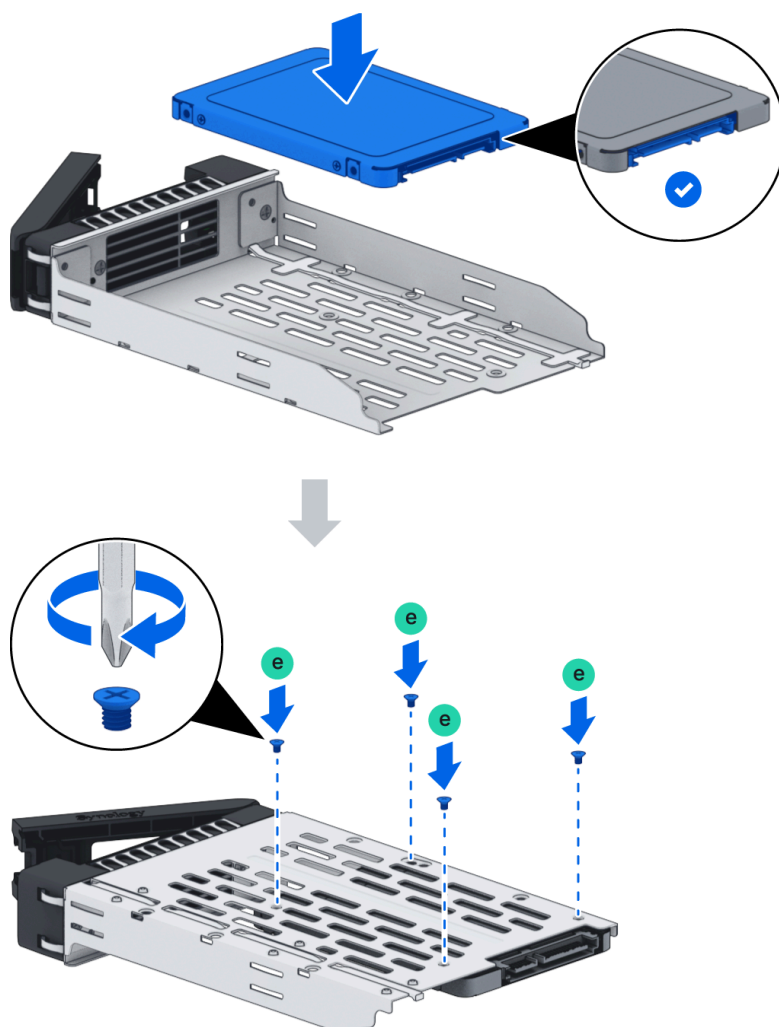


2. ドライブトレイにドライブを装着します。

- 3.5インチドライブの場合：ドライブをドライブトレイに置きます。トレイを逆さまにして、ドライブを固定するためにネジを締めます。



- 。 2.5インチドライブの場合：以下に示すエリアにドライブを置きます。トレイを逆さまにして、ドライブを固定するためにネジを締めます。



3. ロードされたドライブトレイを空のドライブベイに挿入します。

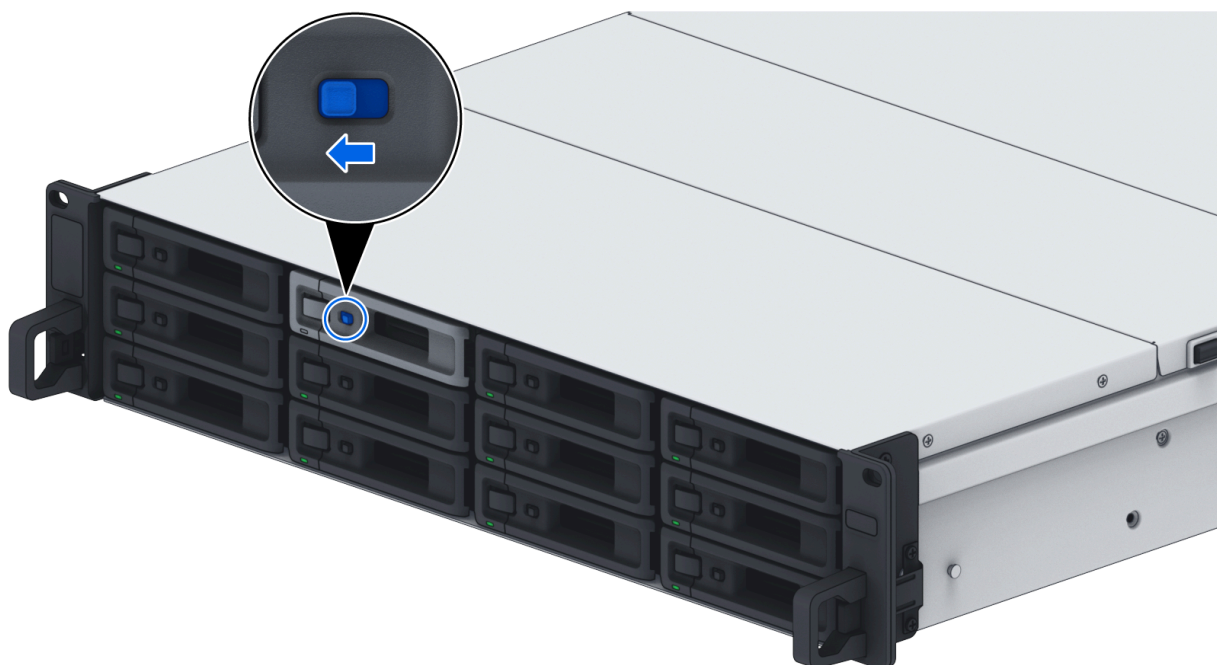


注記：

- トレイが完全に挿入されていることを確認してください。そうでないと、ドライブが正常に機能しない可能性があります。

4. ハンドルを内側に押してドライブトレイを固定します。

5. ドライブトレイハンドルのスイッチを左に押してドライブトレイをロックします。



6. 上記の手順を繰り返して、すべての準備されたドライブをインストールします。

7. 12ベイ Synology NAS の正面図におけるドライブの番号は以下の通りです：

- 1列目（上部、左から右）：1-4
- 2列目（左から右）：5-8
- 3列目（下部、左から右）：9-12



注記：

- RAID ボリュームを作成する予定がある場合、ドライブ容量を最大限に活用するために、同じサイズのドライブをインストールすることをお勧めします。

2.5 レールキットの取り付けと取り外し

ここでは、RKS-02 を例にしてレールキットの取り付けおよび取り外し方法を説明します。レールキットの取り付けに関する詳細は、レールキットに付属のクイックインストールガイドを参照してください。

注意：

レールキットを取り付ける前に、このセクションをよくお読みください。

1. 設置場所を選択してください：

- サーバーシャーシは、清潔でほこりのない、換気の良い環境に置いてください。熱、電気ノイズ、または電磁場が発生する場所を避けてください。
- ラックの前面には、前面ドアを完全に開けられるように、約25インチのクリアランスを確保してください。また、サービス時に十分な空気の流れとアクセスを確保するために、ラックの背面にも約30インチのクリアランスを確保してください。
- この製品は、専用の機器室やサービスクローゼットなど、アクセスが制限された場所のみ設置してください。

2. ラックの注意事項：

- ラックを引き出す前に、取り付け手順を必ずお読みください。
- ラックの底部にあるレベリングジャックが床まで伸びていることを確認し、ラックの全重量がそれらにかかるようにしてください。
- スライドレールに取り付けられた機器の上に物を置かないでください。
- スライドレールに取り付けられた機器を引き出したまま放置しないでください。

3. 安定性に関する警告：

- サービスのためにユニットを引き出す前に、ラックの安定化機構が設置されているか、ラックが床に固定されていることを確認してください。
- ラックが倒れると、機器や財産の損傷、または重大な人身事故を引き起こす可能性があります。

注記：

- シャーシの重量を軽減するために、最初にすべてのドライブを取り外すことができます。

RKS-02 パッケージの内容を確認し、以下のアイテムが含まれていることを確認してください。

メインユニット x 1

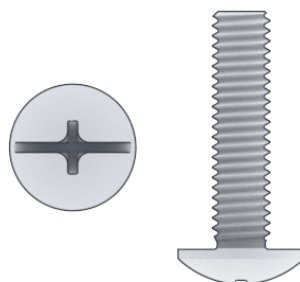
2U/3U ネジ x 3

a



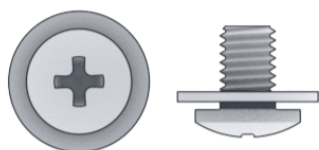
1U ネジ x 3

b



インナーレールネジ x 5

c

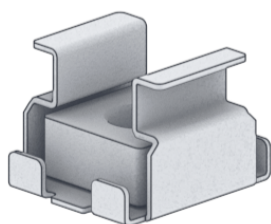


ケージナット x 3

d

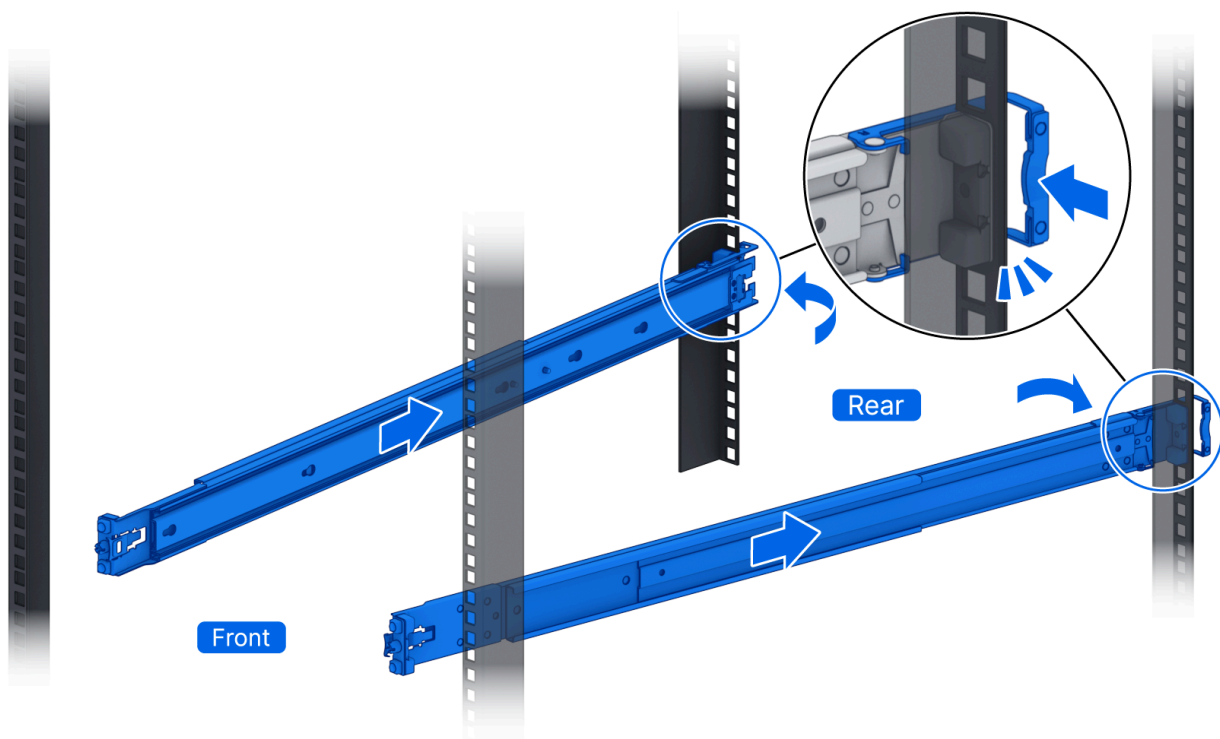


e

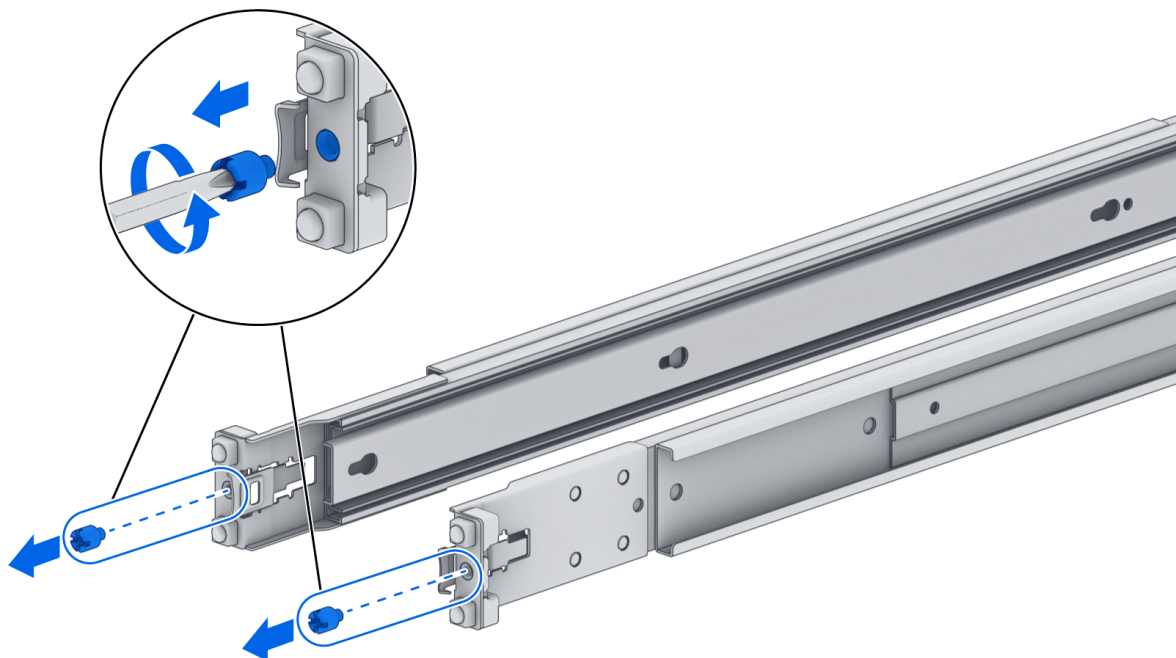


レールキットの取り付け

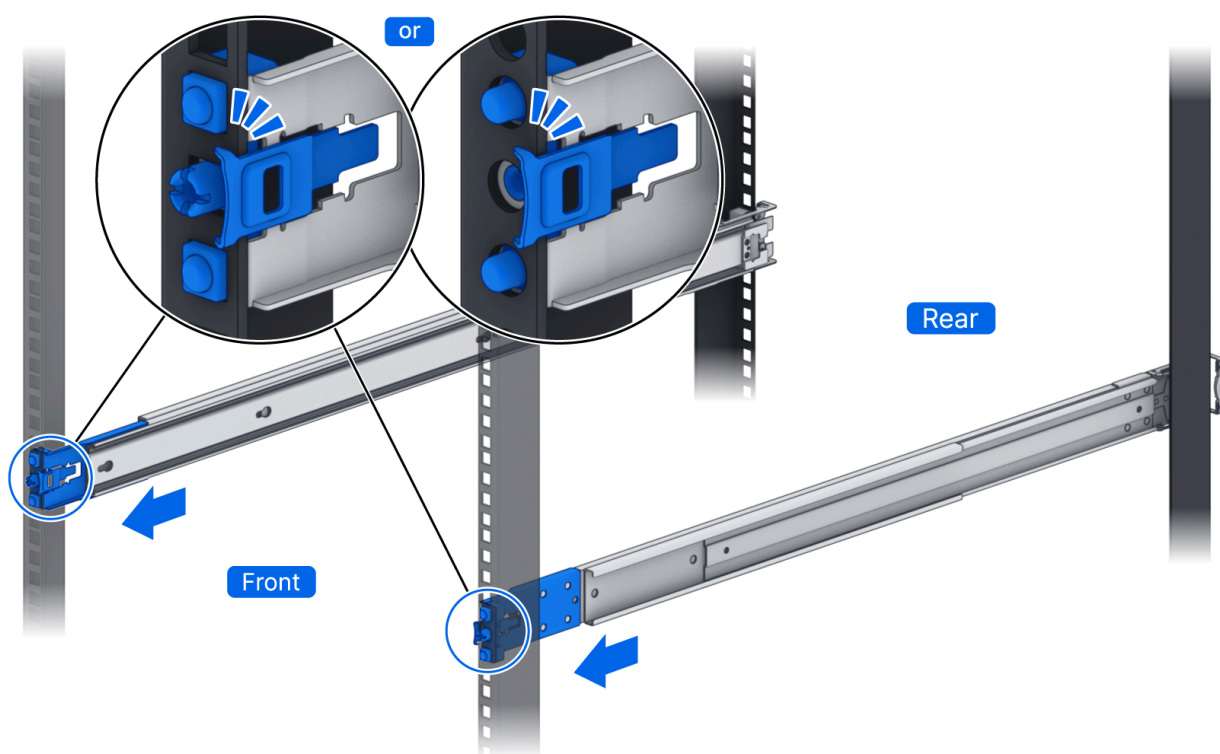
1. ラッチを押してブラケットをラックの穴に挿入することで、レールキットアセンブリの後端をラックに取り付けます。



。丸いネジ穴のあるラックキャビネットの場合、最初に RKS-02 の前のネジノットを取り外してください。

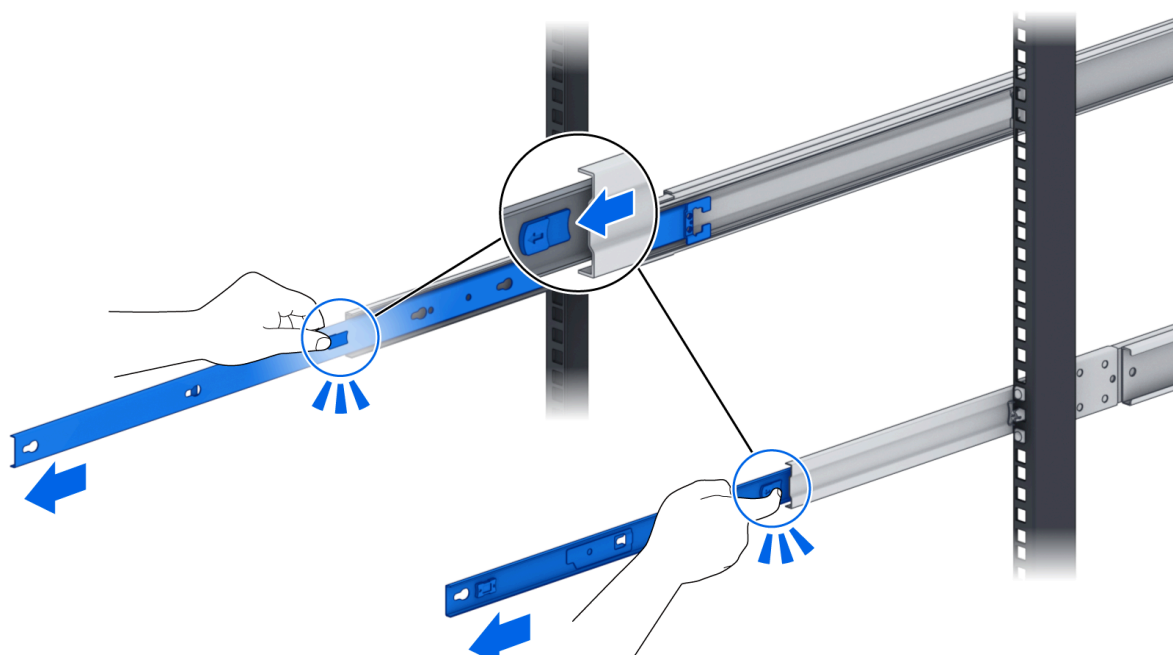


2. レールキットアセンブリの長さを調整し、前面ラッチを少し外側にスライドさせてブラケットをラックの穴に挿入することで、前端をラックに挿入します。



3. インナーレールを引き出します。

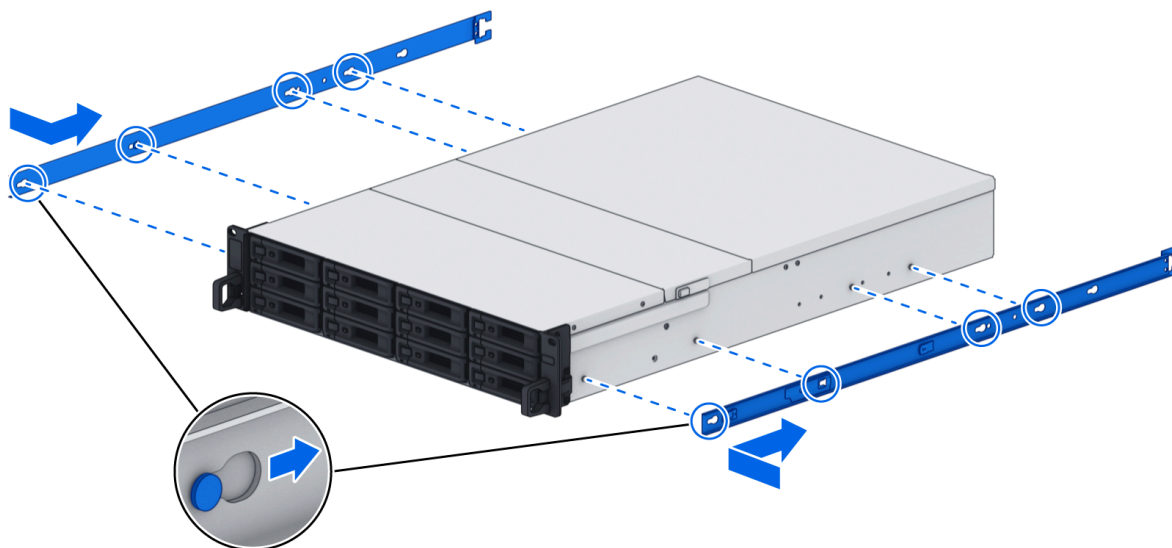
- クリック音が聞こえるまでインナーレールを完全に外側に伸ばします。
- 図のようにインナーレールの後部ラッチを引っ張って保持し、アセンブリからインナーレールを引き続き引き出します。



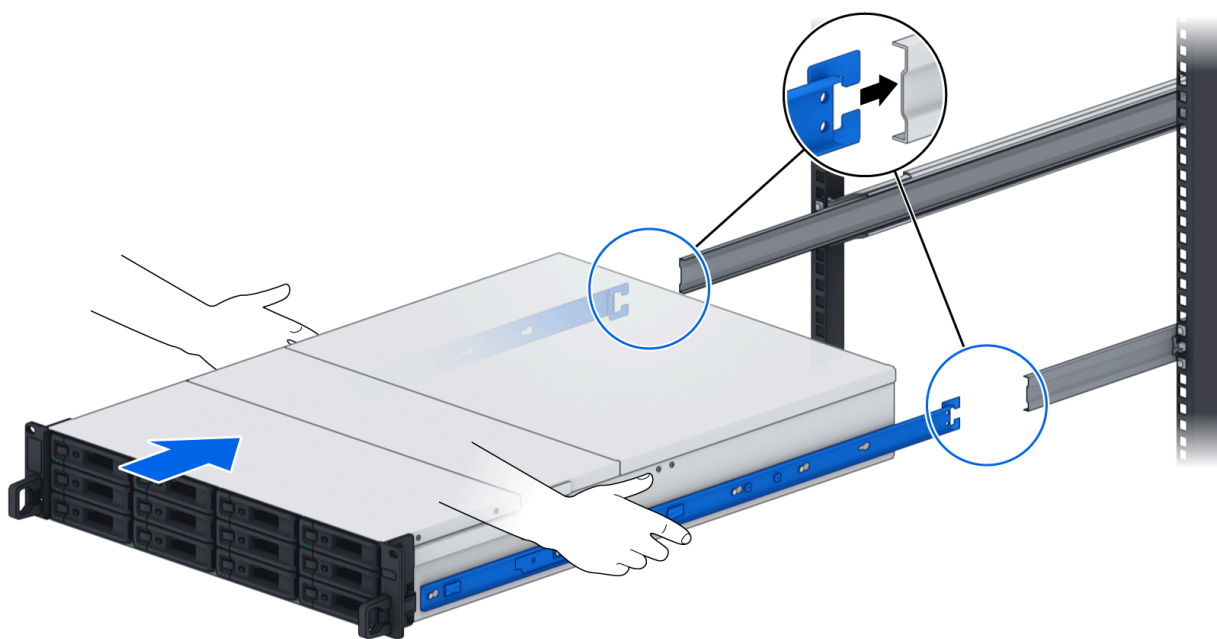
4. インナーレールをシャーシに取り付けます。

- インナーレールの固定穴をシャーシの側面に合わせ、後方にスライドしてインナーレールを取り付けます。

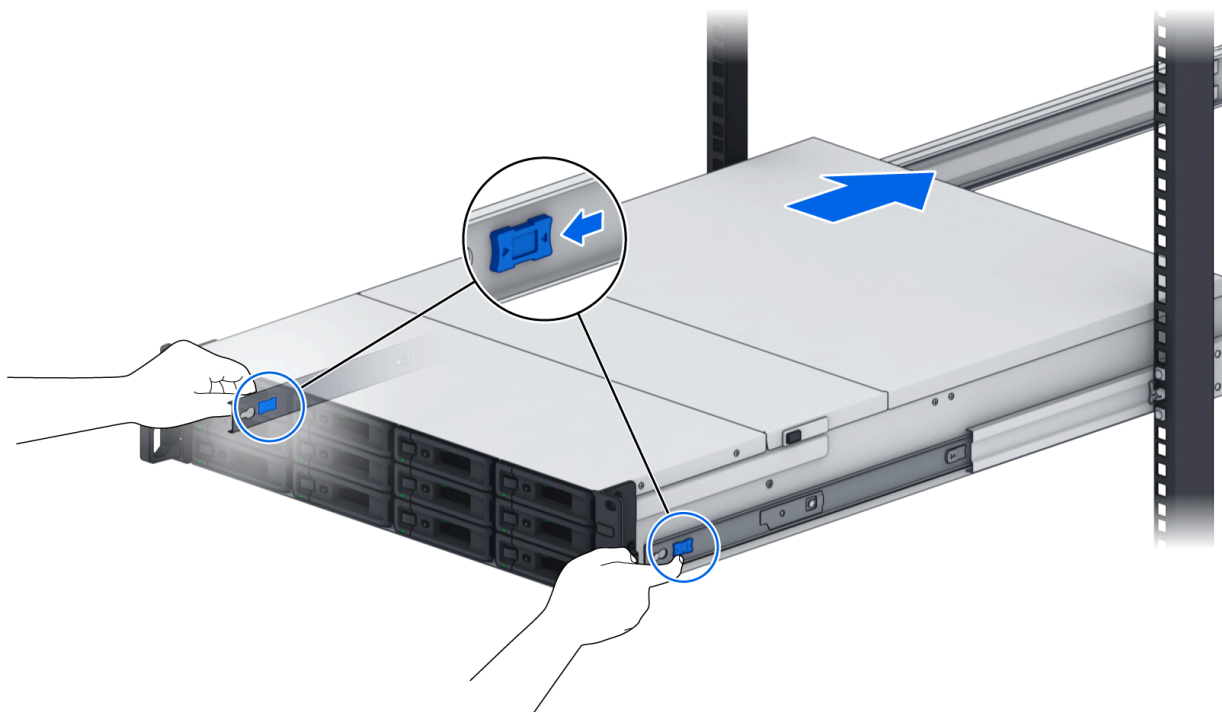
b. 図のようにインナーレールのネジを固定します。



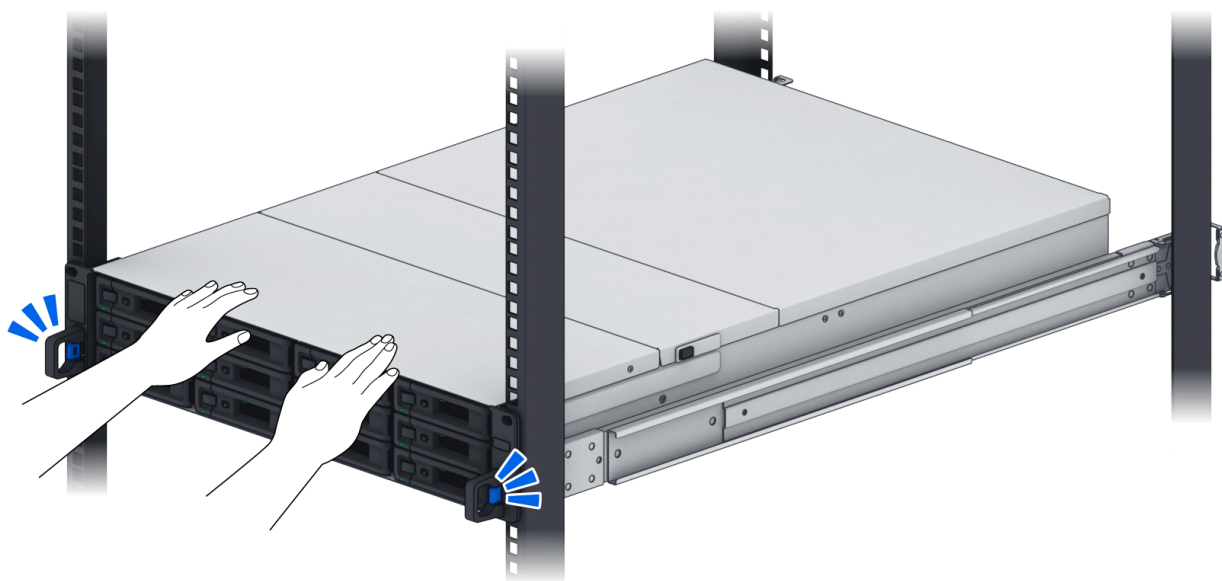
5. 他の人の助けを借りて、インナーレールをアウターレールアセンブリに慎重に合わせ、シャーシをラックに向かって押します。



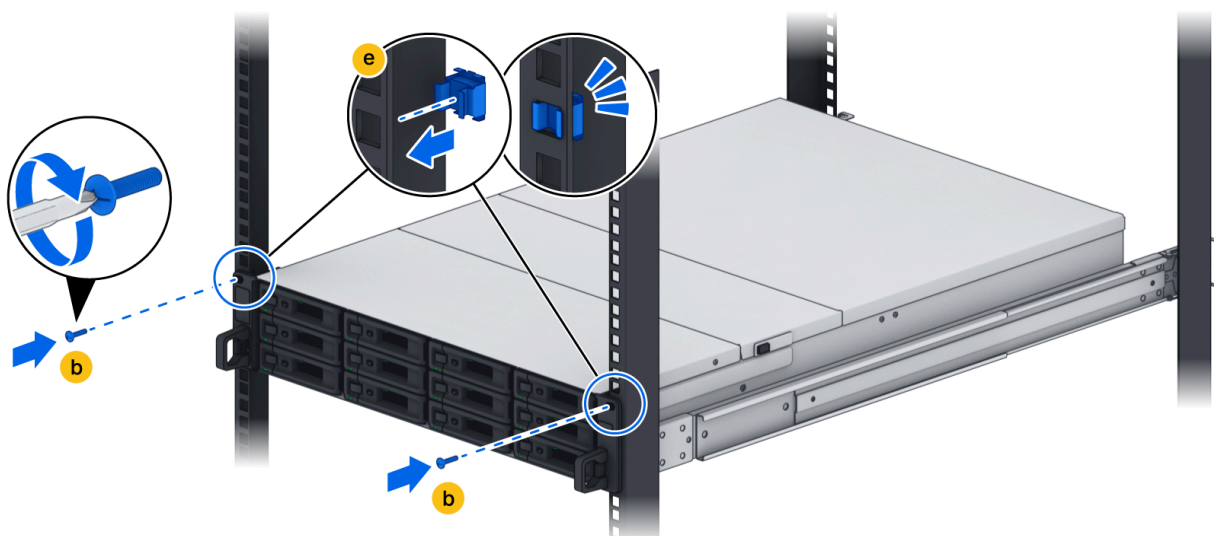
6. 図のようにインナーレールの前部ラッチを引いてインナーレールのロックを解除し、シャーシをラックに向かって押し続けます。



7. イヤーホルダーがレールアセンブリに正しく固定されると、クリック音が聞こえます。

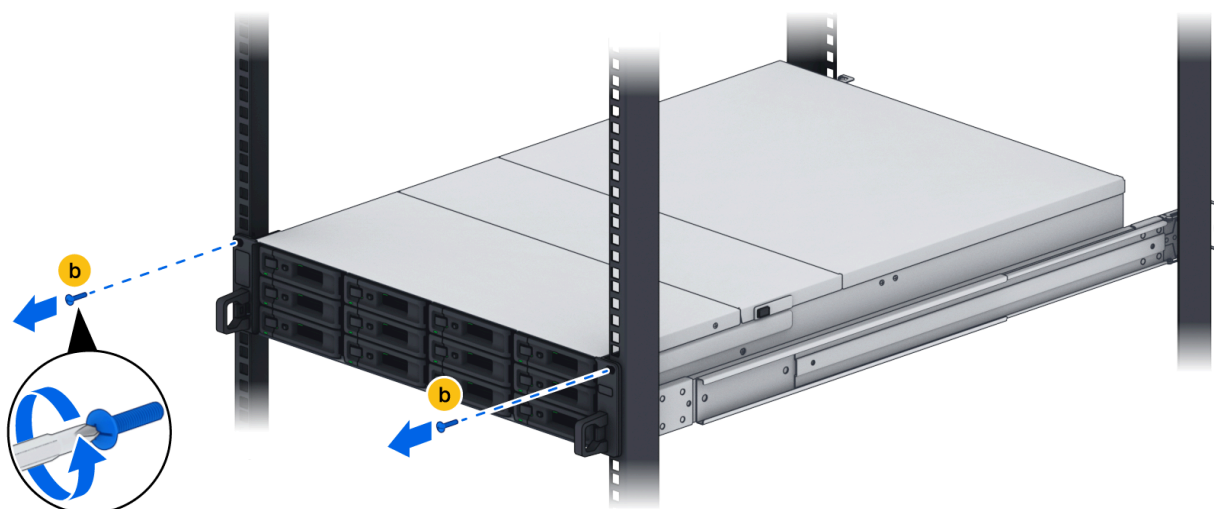


8. 必要に応じて、レールキットパッケージに含まれるケージナットとネジを使用して、シャーシをラックに固定します。

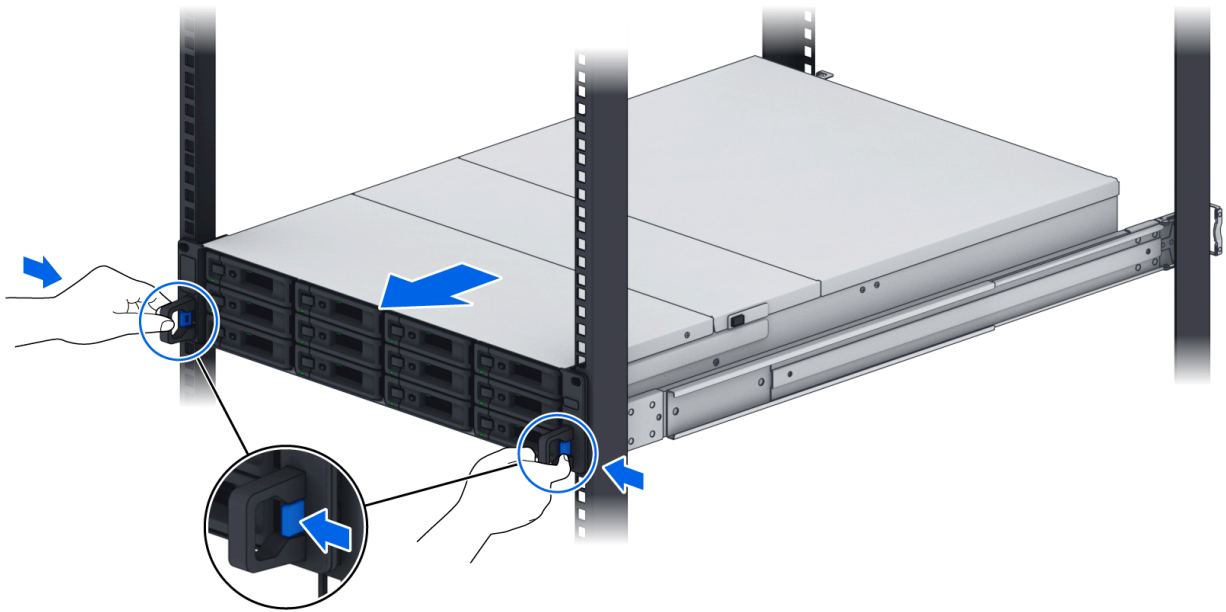


レールキットの取り外し

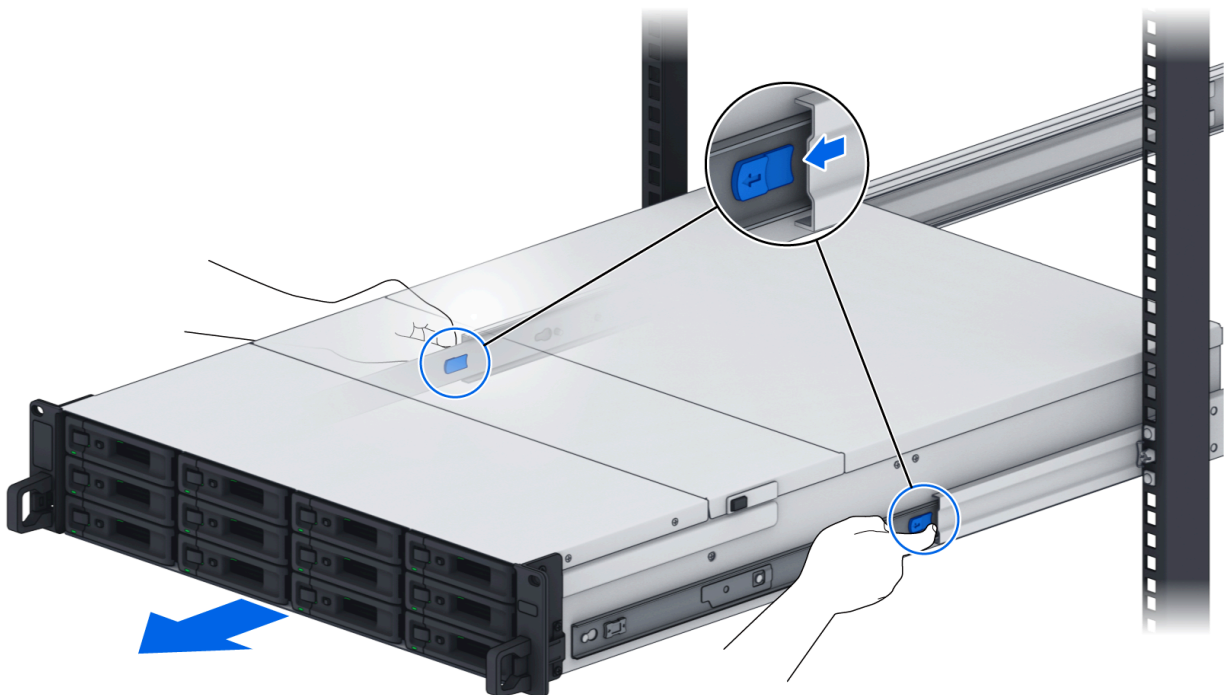
1. シャーシをラックから取り外すには、ラックからネジを緩めて取り外します。



2. 内側にスライドしてイヤーホルダーのレールキットリリースタブを保持し、シャーシをラックから引き出します。



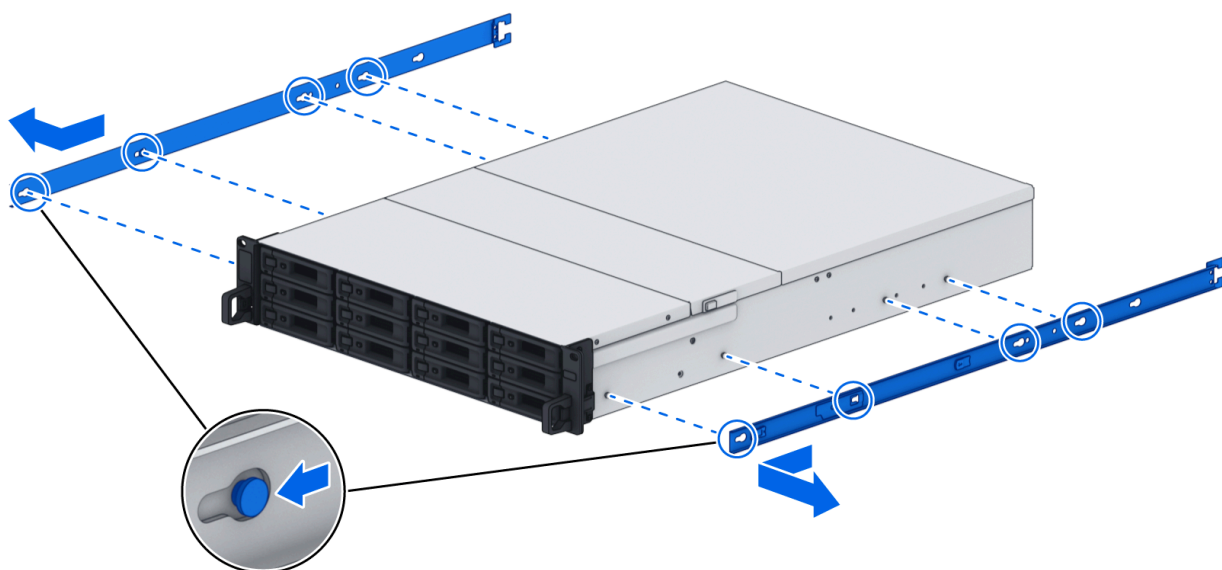
3. インナーレールの後部ラッチを外側にスライドさせて、インナーレールをアウターレールアセンブリからロック解除します。他の人の助けを借りて、シャーシをラックから慎重に取り外します。



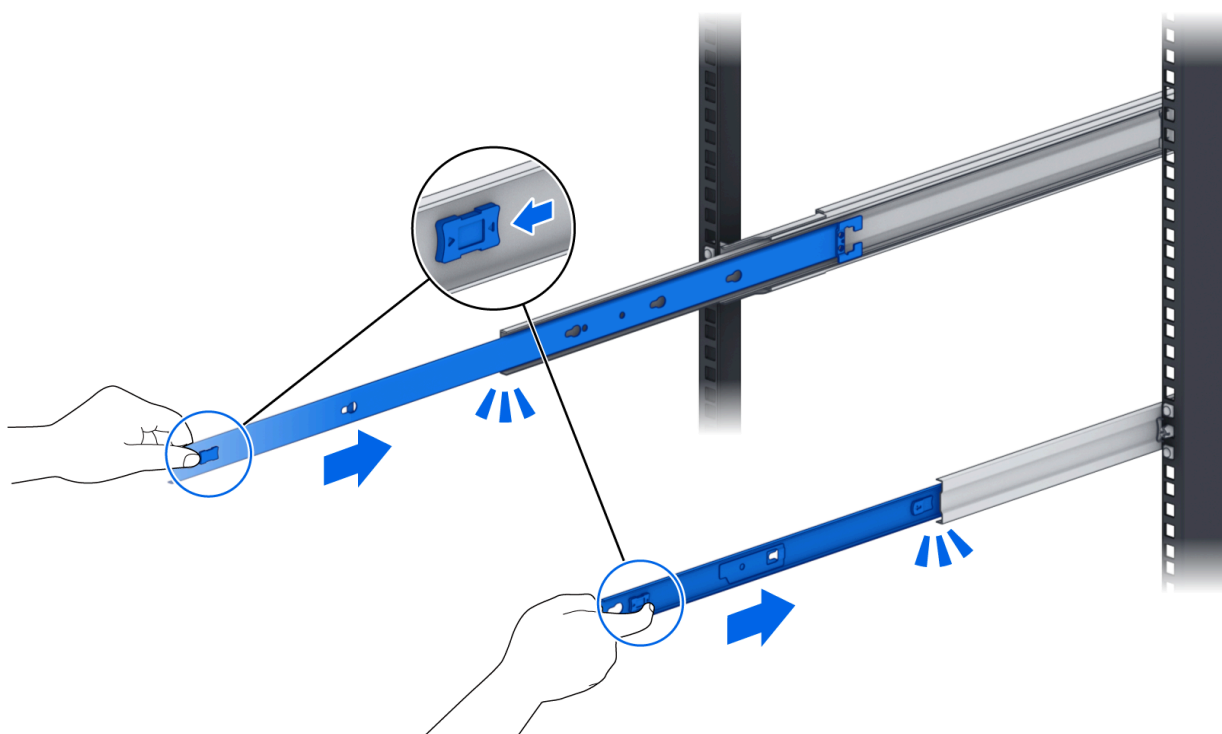
注記：

- シャーシの重量を軽減するために、最初にすべての HDD を取り外すことができます。

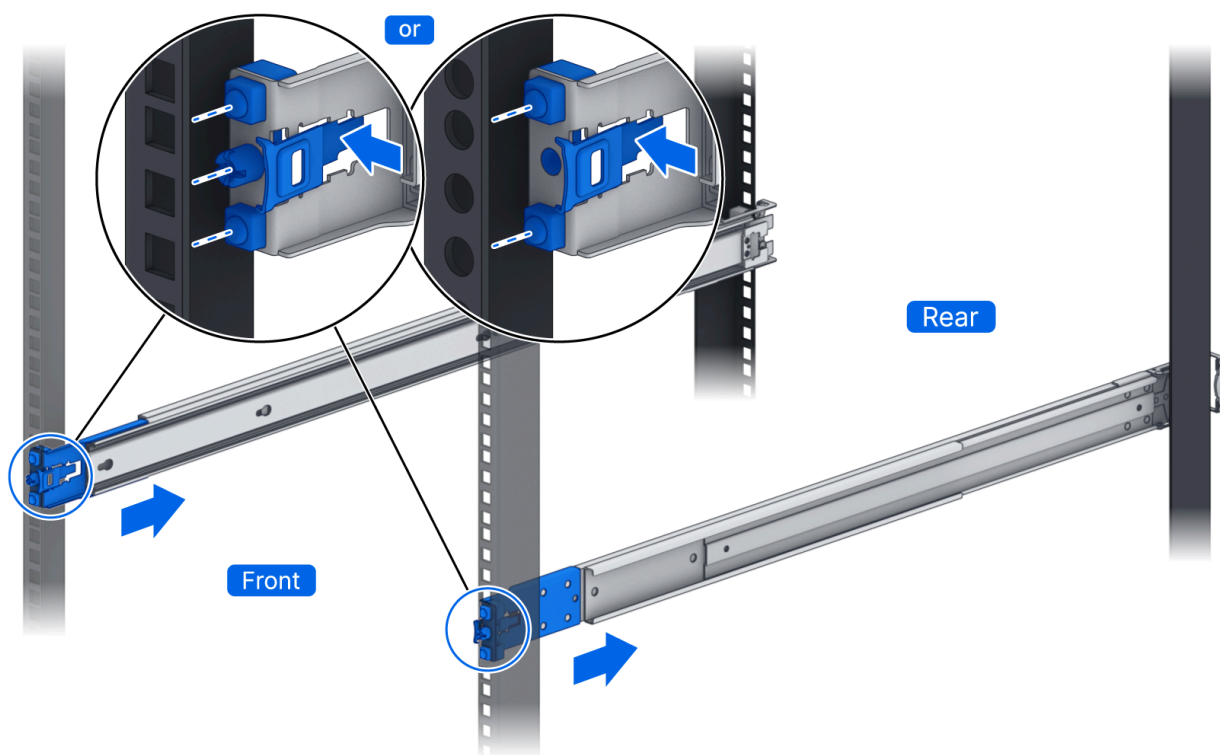
4. レールのネジを緩めて取り外します。図のように中央のラッチを少し引き出し、前方にスライドしてインナーレールをシャーシから取り外します。



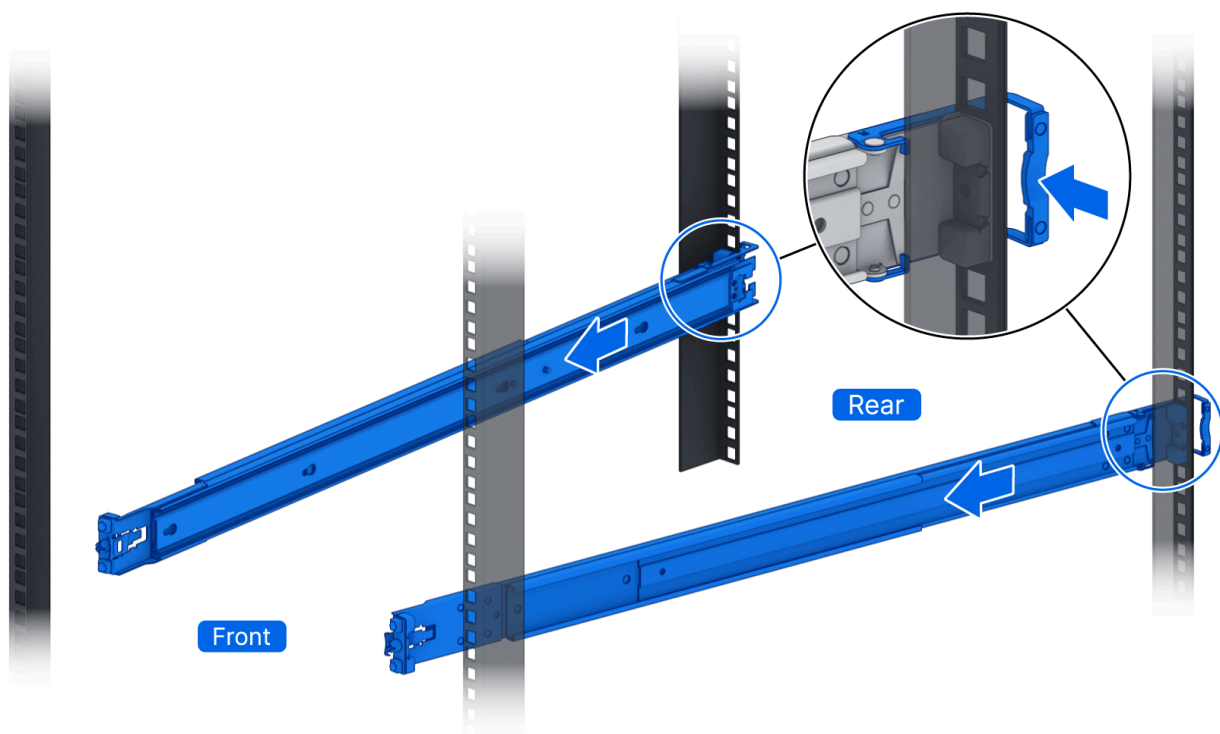
5. インナーレールを外側に引っ張り、前部ラッチを保持してレールキットアセンブリに挿入します。



6. インナーレールアセンブリの前部ラッチを押し、後方にスライドしてアセンブリをラックから取り外します。



7. インナーレールアセンブリの後部ラッチを引き、前方にスライドしてアセンブリをラックから取り外します。

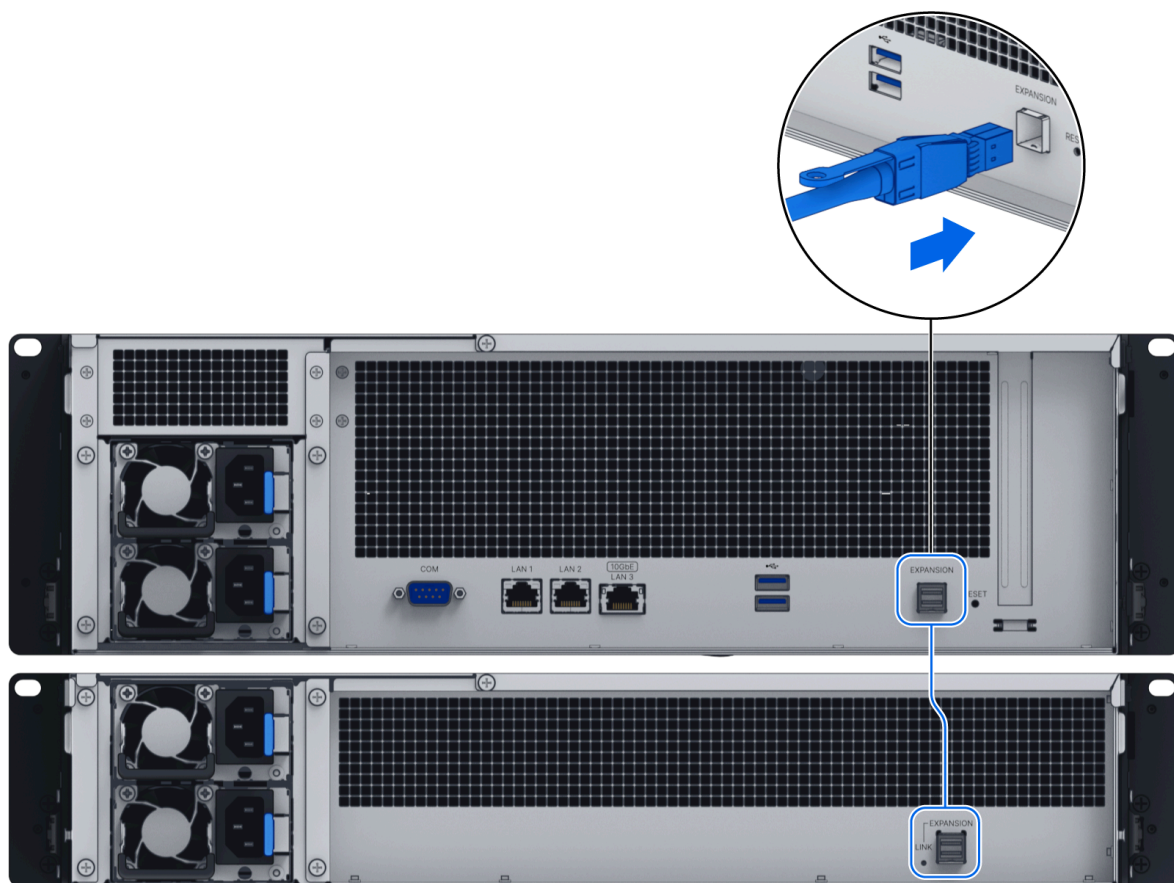


2.6 Synology NAS との接続

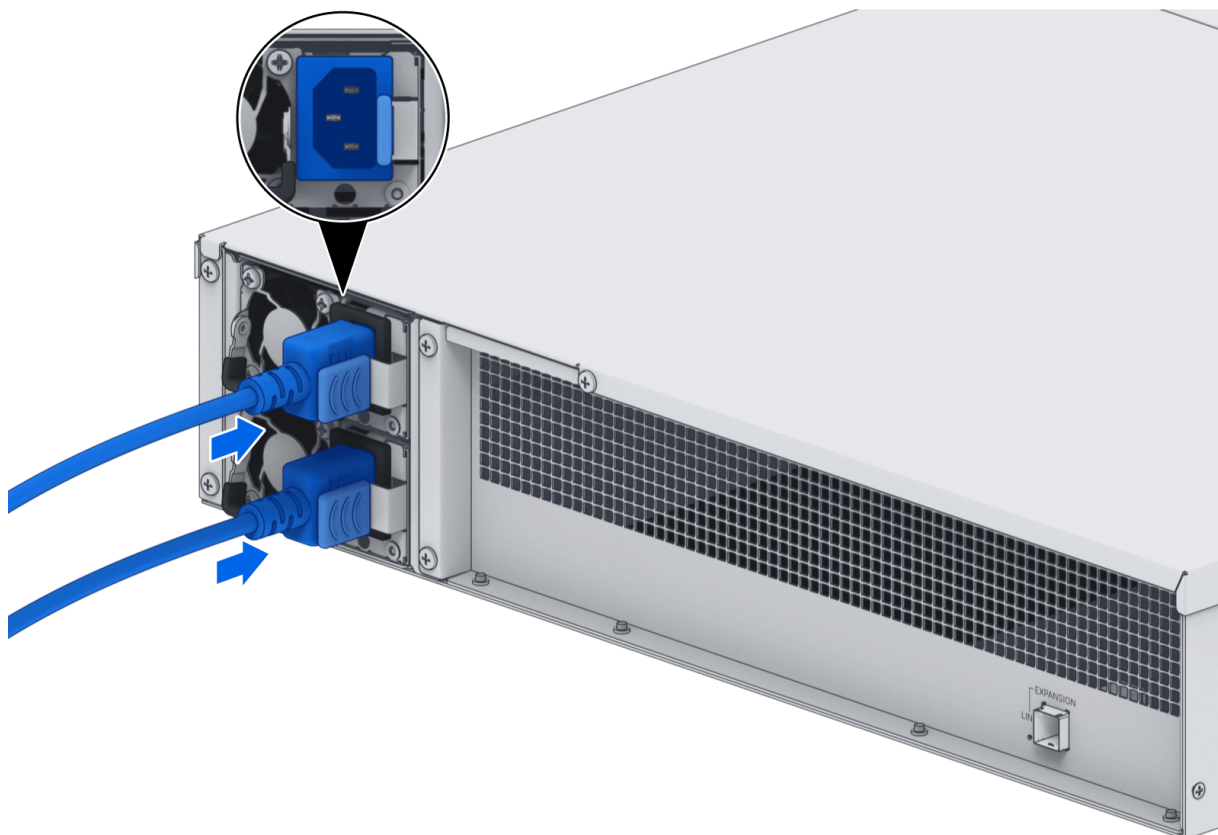
拡張ケーブルを使用して、拡張ユニットと Synology NAS を接続します。ケーブルは正しく接続されていないと、接続が失敗する可能性があります。システムエラーを避けるために、以下の指示に従ってください。

1. 拡張ユニットを Synology NAS に接続する：

- 。ここでは RS2825RP+ を例に使用します。RS2825RP+ と RX1225RP の拡張ポートにケーブルを差し込む際、ケーブルのリリースバンドが上向きであることを確認してください。



2. RX1225RP の電源ポートに電源コードの一端を接続し、もう一端を電源コンセントに接続します。



注：

- RX1225RP は冗長電源システムを備えており、2本の電源コードを接続することができます。システムは1本の電源コードだけで起動することもできますが、予期しない停電を避けるために、両方のコードを使用することをお勧めします。
- 電源コードを抜いた後、再度電源コードを差し込む前にすべてのインジケータがオフになっていることを確認してください。そうしないと、システムが起動しない可能性があります。
- ホストデバイスがまだ電源オンの状態で拡張ケーブルを取り外さないでください。そうするとデータが失われる可能性があります。

3. フロントパネルの電源ボタンを押して Synology NAS の電源を入れます。Synology NAS に接続された RX1225RP の拡張ユニット ID がフロントパネルに順番に表示されます。



注：

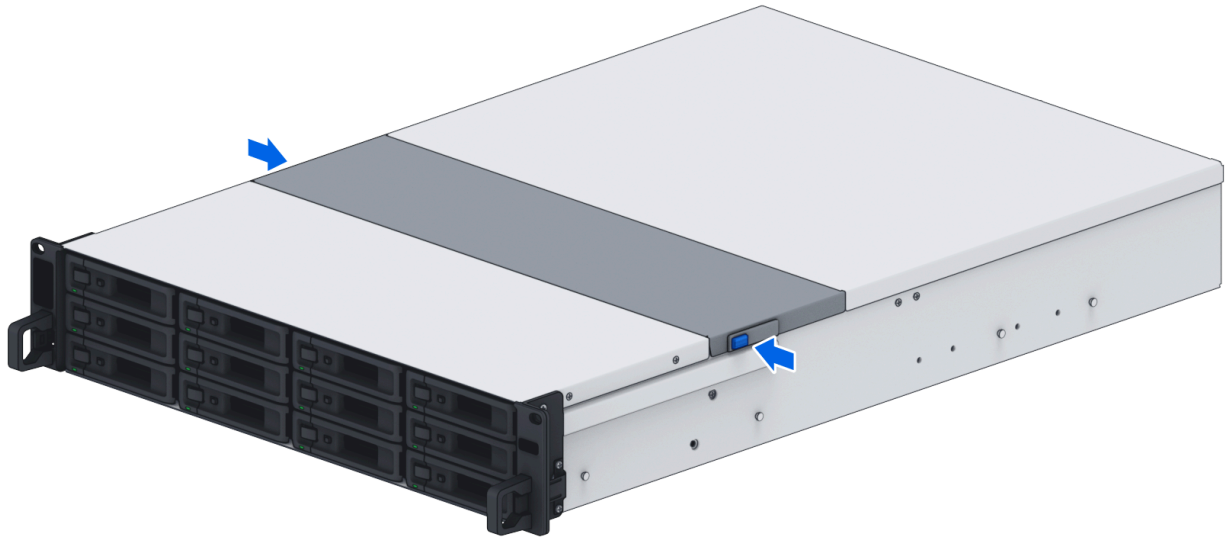
- ・ 接続可能な拡張ユニットの実際数は、Synology NAS の性能制限と仕様に依存します。
- ・ Synology NAS の電源がオン/オフになると、正しく接続された拡張ユニットはインストールされた順序で自動的に電源がオン/オフになります。
- ・ Synology NAS と拡張ユニットの電源がオンの状態で、必要に応じて追加の拡張ユニットを接続することが可能です。そのためには、上記の手順を繰り返して追加の拡張ユニットの拡張ケーブルと電源コードを接続してください。拡張ユニットが正しく接続されていれば、自動的に電源が入り、数秒以内に拡張ユニット ID が表示されます (DSM が Synology NAS に正しくインストールされている場合)。
- ・ 拡張ケーブルを誤って取り外した場合、**すぐに再接続しないでください**。この場合、Synology NAS はシステムエラーを防ぐためにいくつかのタスクを実行します。このプロセス中、電源 LED インジケータが点滅を開始します。再度拡張ケーブルを接続する前に数秒待ってください。待機時間は、1つの拡張ユニットが接続されている場合は30秒、2つの拡張ユニットが接続されている場合は60秒などです。プロセスが完了すると、電源 LED インジケータは静止状態に戻ります。
- ・ 拡張ケーブルを再接続した後、Synology NAS がデータパスを回復し、正常に動作するまで数秒待ってください。電源 LED インジケータが点滅を開始します。必要な時間は、1つの拡張ユニットが接続されている場合は60秒、2つの拡張ユニットが接続されている場合は120秒などです。プロセスが完了すると、電源 LED インジケータは静止状態に戻ります。
- ・ 拡張ユニットが故障した場合は、故障した拡張ユニットを取り外し、"[Synology NAS との接続](#)"の手順に従って新しいものと交換してください。

第3章: システムメンテナンス

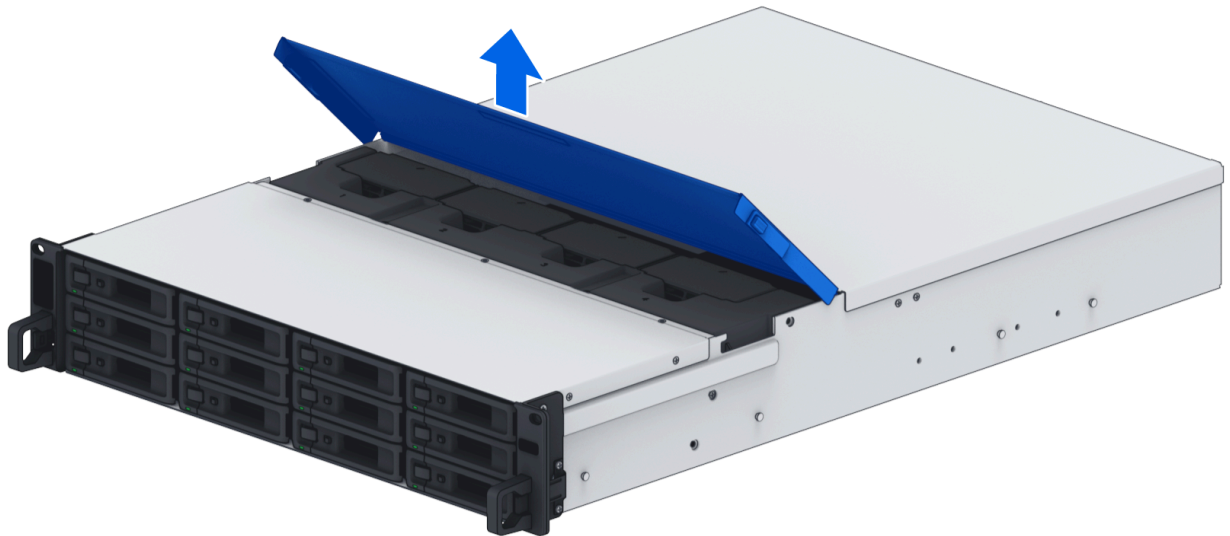
3.1 システムファンの交換

システムファンが故障した場合は、以下の手順に従ってRX1225RPを開き、故障したファンを交換してください。

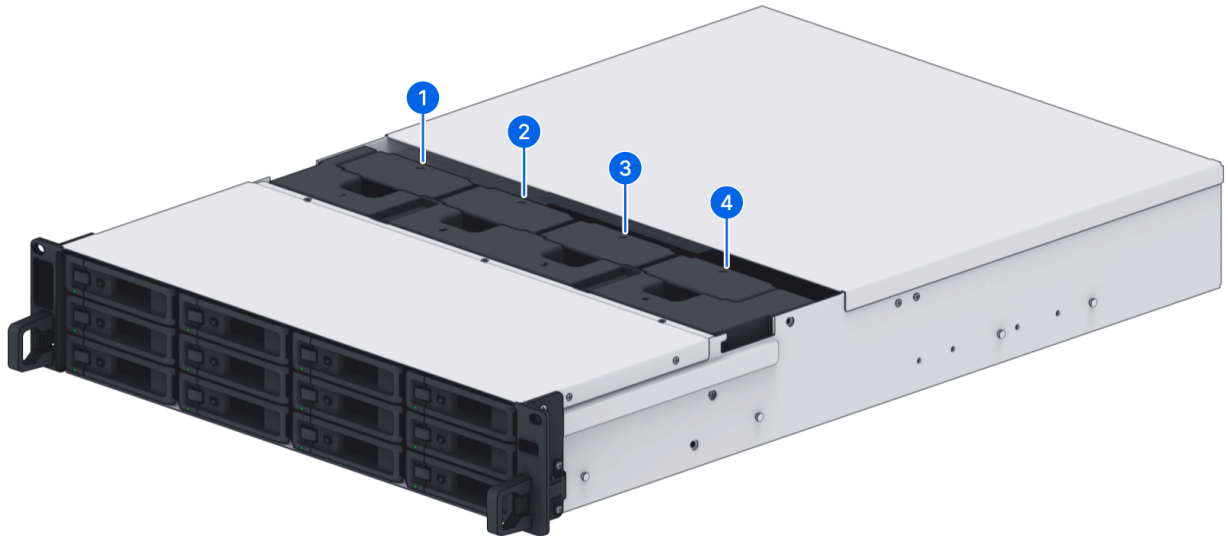
1. RX1225RPの側面にある小さなボタンを押します。



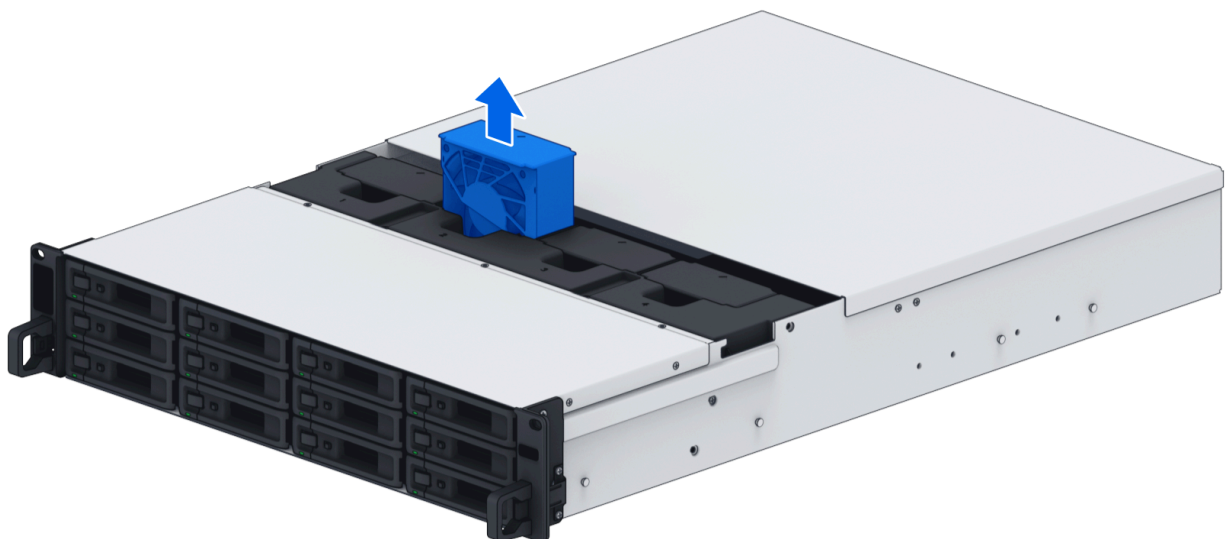
2. ファンカバーを持ち上げて取り外します



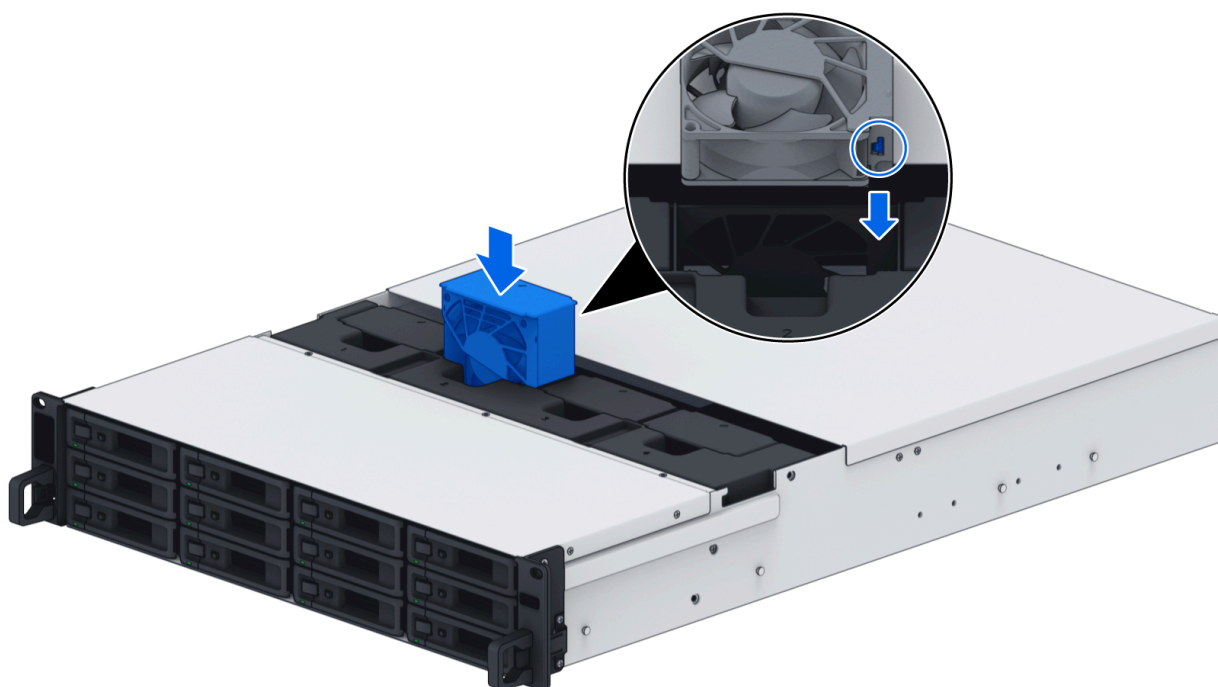
3. ファンは以下のように番号が付けられています。



4. 故障したファンを見つけます。ファンを持ち上げて取り外します。



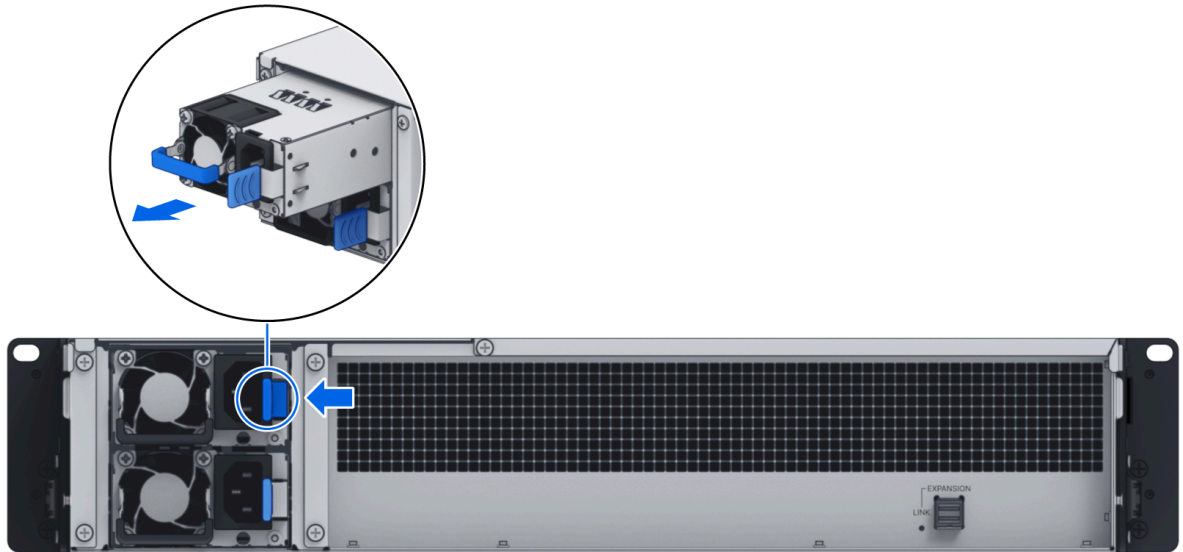
5. 新しいファンを用意し、RX1225RPにスライドさせます。ファンが正しく配置されていることを確認してください。



3.2 電源ユニット (PSU) の交換

PSUまたはそのファンが故障した場合は、以下の手順に従って故障したPSUを交換してください。

1. 交換するPSUから電源コードを抜きます。
2. 故障したPSUを取り外します:
 - a. リアパネルで、PSUのレバーを内側に押します。
 - b. PSUをRX1225RPから引き出します。



3. 新しいPSUを用意します。クリック音がするまで空のスロットに挿入します。

第4章: ト ラ ブ ル シ ュ ー テ ィ ン グ

注意:

- ト ラ ブ ル シ ュ ー テ ィ ン グ や 修 理 は、Synology テ ク ニ カ ル サ ポ ー ト チ ー ム に よ っ て 承 認 ま た は 指 示 さ れ た 場 合 に の み 行 う べ き で す。

注記:

- この章では発生する可能性のある問題について説明します。すべての問題が拡張ユニットで発生するわけではありません。発生した問題に特化したト ラ ブ ル シ ュ ー テ ィ ン グ 手 順 に つ い て は、対 応 す る セ ク シ ョ ン を 参 照 し て く だ さ い。

4.1 ト ラ ブ ル シ ュ ー テ ィ ン グ チェックリスト

ト ラ ブ ル シ ュ ー テ ィ ン グ や 修 理 作 業 を 行 う 前 に、以 下 の チェックリストを使用して拡張ユニットのハードウェア問題の可能性のある原因を見つけてください。

1. 拡張ユニットの電源を入れる前に、すべての USB ドライブを取り外してください。
2. 拡張ユニットは機能する AC 電源コンセントに接続されていますか？
3. 拡張ユニットの電源は入っていますか？
4. 電源 LED ライトは点灯していますか？
5. ステータス LED ライトは点灯していますか？
6. アラート LED ライトは点滅していますか？
7. すべてのケーブルが緩んでいないか、誤って接続されていないか確認してください。
8. 最近、非ホットスワップ可能なハードウェアコンポーネント（例：メモリモジュール、NIC、PCIe カード）を追加した場合は、そのコンポーネントを取り外し、拡張ユニットがそれなしで正常に機能するか確認してください。
9. 最新バージョンの DSM を使用していますか？
10. ネットワークを通じて拡張ユニットに接続できない場合は、ネットワークケーブルを交換して再接続を試みてください。（ト ラ ブ ル シ ュ ー テ ィ ン グ の 目 的 で、ルーター、スイッチ、またはハブを使用せずに拡張ユニットに直接接続していることを確認してください。）

4.2 一般的な問題の解決

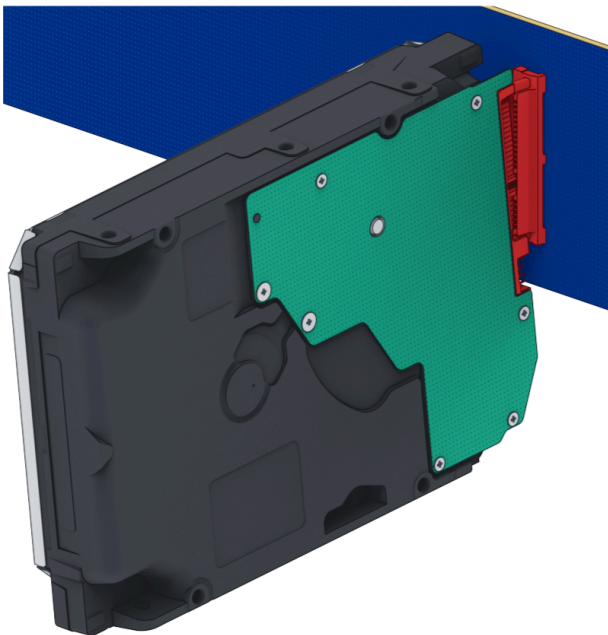
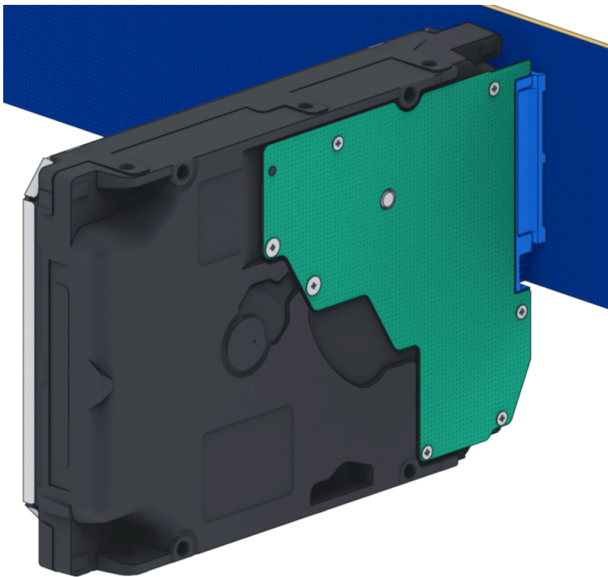
このセクションでは、以下の問題について説明します。

- ハードドライブを認識できない
- 拡張ユニットを認識できない
- アラート LED が連続して点滅している
- 電源を入れられない (電源 LED が連続して点滅している)
- ドライブがインストールされていない状態で電源を入れられない
- 電源ボタンを押しても電源が入らない
- UPS 接続後に電源を入れられない

ハードドライブを認識できない

1. [Synology 製品互換性リスト](#)に記載されているハードドライブを使用していることを確認してください。
2. 拡張ユニットからハードドライブを取り外し、目視検査を行います:

a. ハードドライブのコネクタが損傷していないか、曲がっていないか確認してください。



3. ハードドライブを新しいものに交換し、拡張ユニットを再起動して、問題が取り外したドライブによるものか確認してください。
4. トップカバーを取り外し、HDD バックプレーンの電源とコネクタが正しく接続されていることを確認してください。

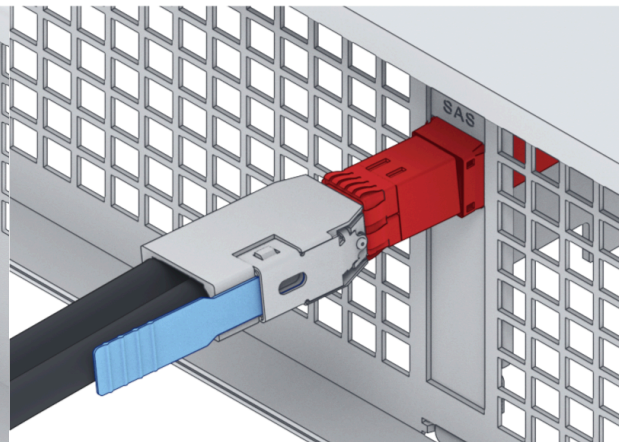
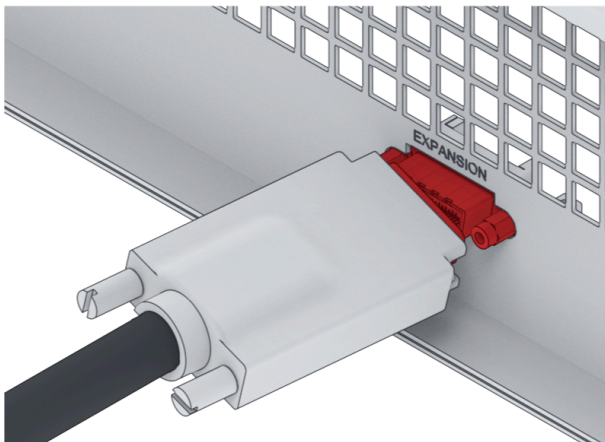
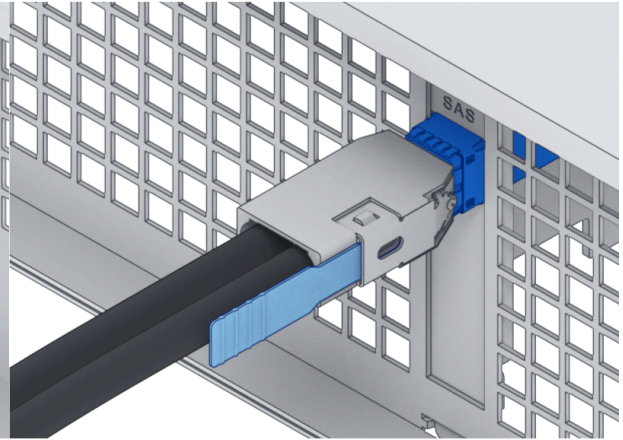
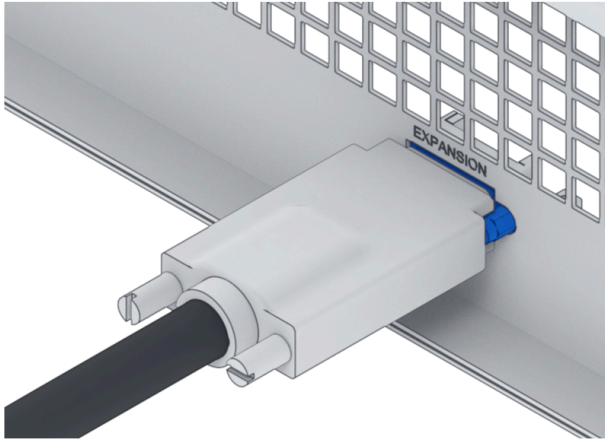
注記:

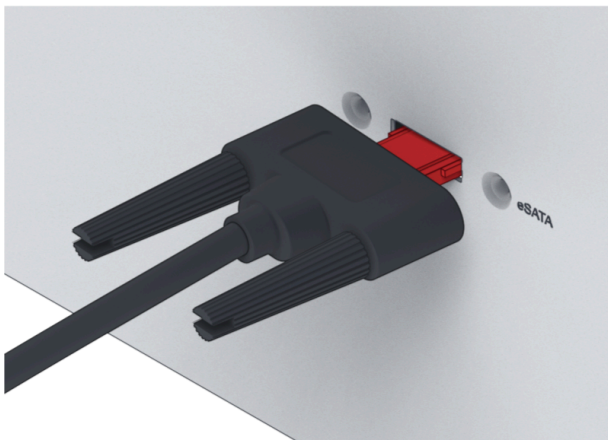
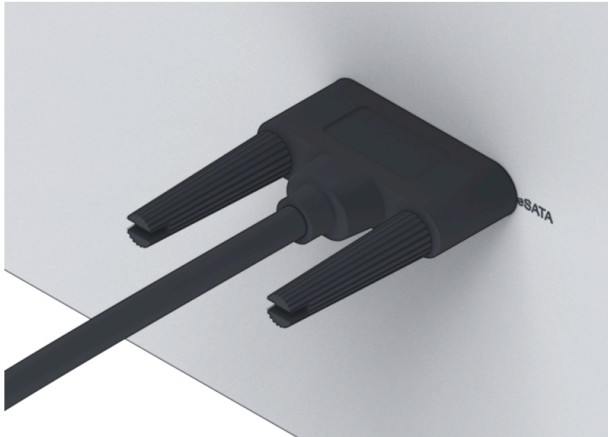
- 拡張ユニットの電源が入っているときは、手や工具で PCB の部品に触れないでください。

5. 上記のトラブルシューティング手順を実行しても問題が解決しない場合は、Synology テクニカルサポートに連絡してさらなる支援を受けてください。

拡張ユニットを認識できない

1. 拡張ユニットが Synology NAS と [互換性がある](#) ことを確認してください。
2. 目視検査を行い、拡張ポートが錆びていないか確認してください。錆びていると接続不良の原因となる可能性があります。
3. 目視検査を行い、拡張ポート内に異物がないか、破損していないか確認してください。
4. 接続している拡張ケーブルが正しく配置され、拡張ユニットデバイスにしっかりと接続されていることを確認してください。





5. 拡張ユニットの電源が接続され、電力を供給していることを確認してください。
6. 拡張ケーブルを、正常に動作することが確認されたケーブルに交換してください。
7. 上記のトラブルシューティング手順を実行しても問題が解決しない場合は、Synology テクニカルサポートに連絡してさらなる支援を受けてください。

アラート LED が連続して点滅している

アラート LED が連続して点滅し、DSM に「拡張ユニットの温度が高すぎます。過熱の問題が続く場合、ハードウェアの誤動作を避けるために拡張ユニットがシャットダウンする可能性があります」または「拡張ユニットのファンが停止しました」というメッセージが表示された場合は、[「システムファンの交換」](#)を参照し、ファンが正しく取り付けられ、機能していることを確認してください。

電源を入れられない (電源 LED が連続して点滅している)

1. 静電気を放電してください。
2. 拡張ユニットの電源がオフになっていることを確認してください。
3. すべての接続された外部デバイス (USB、eSATA、Ethernet など)、インストールされたドライブ、および追加でインストールされた RAM (サードパーティ製 RAM はサポートされていません)

を取り外してください。

4. Synology システムの電源を入れ、次のステップに進む前に10分待ってください。

5. 電源ボタンの LED ライトの状態を確認してください。LED の定義についての詳細は、「[LED インジケータ テーブル](#)」を参照してください。

- a. 電源 LED が点滅し続けるか、電源がオフのままである場合、残念ながら拡張ユニットがハードウェア障害を経験していることを意味します。「[ドライブがインストールされていない状態で電源を入れられない](#)」の指示に従ってください。
- b. 電源 LED が静的である場合は、[このチュートリアル](#)に従ってドライブの問題をトラブルシューティングしてください。

注記:

- 電源 LED が静的になると、アラートライトがオレンジ色に点滅し、拡張ユニットがピープ音を発し始める可能性があります。これは正常で予想される動作です。すべてのドライブのテストが完了すると、ドライブの1つ以上が故障していない限り、これを停止するはずで
- ユニットに ping を送信できることは、LAN ポートが機能していること以外に特に意味はありません。上記のテストを正しく行うには、電源 LED が静的になり、点滅し続けないことを確認してください。

ドライブがインストールされていない状態で電源を入れられない

1. 「[電源を入れられない \(電源 LED が連続して点滅している \)](#)」セクションのすべてのステップを完了してください。
2. 以下の手順に従い、内部チェックを行ってください:
 - a. 電源コードを抜いてください。
 - b. マザーボードが正しくインストールされ、Synology 製であることを確認してください。
 - c. メモリモジュールを清掃して再インストールしてください。メモリスロットとメモリモジュールにほこり、汚れ、その他の異物がないことを確認してください。
3. 拡張ユニット内にほこりや汚れがたまっている場合は、電源を入れる前に清掃してください。
4. 上記のトラブルシューティング手順を実行しても問題が解決しない場合は、Synology テクニカルサポートに連絡してさらなる支援を受けてください。

電源ボタンを押しても電源が入らない

以下の基本的な環境チェックを行ってください:

1. 電源コードが正常に機能しており、損傷していないことを確認してください。
2. 電源コードが電源ソケットと拡張ユニットの両方に正しく接続されていることを確認してください。

3. AC 電源が電圧要件 (110V - 220V) を満たしていることを確認してください。拡張ユニットに UPS が接続されている場合は、一時的に切断し、代わりに AC 電源を使用してください。
4. すべての外部 I/O デバイス (外部ハードディスク/USB/LAN/eSATA など) を取り外してください。電源のみを保持し、拡張ユニットが正常に電源を入れられることを確認してください。

環境チェックを行った後でも拡張ユニットの電源が入らない場合は、以下の手順に従って拡張ユニットの内部チェックを行ってください。

1. 電源コードを取り外し、トップカバーを取り外してください。
2. LED ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
3. PSU コネクタが正しく接続されていることを確認してください。
4. 内部コンポーネントにほこりがたまっていないことを確認してください。たまっている場合は、清掃が必要です。
5. 電源コードを再接続し、拡張ユニットの電源を再投入してください。
6. 上記のトラブルシューティング手順を実行しても問題が解決しない場合は、Synology テクニカルサポートにお問い合わせください。

UPS 接続後に電源が入らない

1. UPS と拡張ユニットの電源コードが正しく接続されていることを確認してください。
2. UPS から供給される電力が安定していることを確認してください。
3. 拡張ユニットの電源コードを直接 AC 電源コンセントに接続し、電源が入ることを確認してください。
4. UPS システムが拡張ユニットと [互換性がある](#) ことを確認してください。
5. 上記のトラブルシューティング手順を実行しても問題が解決しない場合は、Synology テクニカルサポートにお問い合わせください。

4.3 Synology テクニカル サポートに連絡する前に

Synology テクニカル サポートに連絡する前に、以下の指示に従って問題を解決してください。

- このマニュアルのトラブルシューティング情報を使用してください。
- "[トラブルシューティング チェックリスト](#)" の指示に従ってください。
- [Synology ナレッジ センター](#)で更新情報、新しいデバイスドライバー、ヒントやコツを確認してください。

可能であれば、Synology テクニカル サポートに連絡する際に製品のそばにいて、以下の情報を用意してください。

- 製品モデル名
- Synology 製品のシリアル番号
- 問題の説明

- エラーメッセージの正確な文言
- ハードウェアおよびソフトウェアの構成情報

4.4 Synology テクニカル サポートへの連絡

保証期間中は、[Synology テクニカル サポート](#)を通じてヘルプと情報を得ることができます。訓練を受けたサービス担当者が、ハードウェアの問題を特定し、問題を解決するために必要な措置を決定するのを支援します。

保証は以下の事項をカバーしません。

- Synology 製または Synology 用に製造されていない部品の交換または使用、または保証されていない Synology 部品
- ソフトウェア問題の原因の特定
- アプリケーションプログラムのインストールとメンテナンス

交換サービスが必要と判断された場合は、製品を購入した地元の販売店または代理店に連絡して、さらなる支援を受けてください。（Synology は北米以外での直接交換サービスを提供していません。）

注：

- Synology の保証ポリシーについての詳細は、[この記事](#)を参照してください。

4.5 情報、ヘルプ、およびサービスの取得

Synology は幅広いサポートドキュメントを公開しています。

[ナレッジベース](#)では、便利な[ヘルプ](#)および[FAQ](#)記事、[ビデオチュートリアル](#)を見つけることができ、プロセスを便利なステップに分解しています。

また、[ユーザーガイド](#)、[ソリューションガイド](#)、[パンフレット](#)、[ホワイトペーパー](#)を見つけることができます。経験豊富なユーザーや管理者は、[デベロッパーガイド](#)で回答とガイダンスを見つけることができます。

問題が発生し、公式ドキュメントで解決策を見つけられない場合は、[Synology コミュニティ](#)でユーザーやサポートスタッフによる数百の回答を検索するか、ウェブフォーム、メール、電話を通じて[Synology テクニカル サポート](#)に連絡してください。

SYNOLOGY, INC. エンドユーザー用の使用許諾契約

必ずお読みください：このエンドユーザー用の使用許諾契約書（以下「EULA」）は、あなたが購入された SYNOLOGY 製品（以下「製品」）にインストールされていた SYNOLOGY ソフトウェア、合法的に www.synology.com からダウンロードしたソフトウェア、または SYNOLOGY が提供するその他の方法で入手した SYNOLOGY ソフトウェア（以下「ソフトウェア」）について、あなた（1人の個人または1つの団体のいずれか）と SYNOLOGY, INC.（以下「SYNOLOGY」）の間で交わされる法的な契約書です。

あなたは、製品に含まれているソフトウェアを使用する、ソフトウェアを製品にインストールする、デバイスを製品に接続すると、本 EULA の条件に同意したものとみなされます。本 EULA の条件に同意いただけない場合は、ソフトウェアが含まれる製品を使用したり、www.synology.com からソフトウェアをダウンロードしたり、その他 SYNOLOGY が提供する方法でソフトウェアを入手したりしないでください。その場合は、製品を購入した販売店に製品を返却し、販売店の返却条件に従って返金を求めてください。

第1条。条件付きソフトウェアライセンス。本 EULA の利用規約に従い、Synology はユーザーに製品の許可された使用についてのみ、製品または製品に接続されたデバイスに読み込まれたソフトウェア1部をインストール、実行、使用するための限定付き、非独占的、譲渡できない個人用ライセンスを許可します。

第2条。文書。ソフトウェアに付属のいかなる文書も適度な枚数の複製を作成し使用することができます。その複製は、社内使用に限り、第三機関に対して再発行または再配布（ハードコピーまたは電子コピーのいずれの形式においても）してはけません。

第3条。バックアップ。ユーザーは、バックアップおよび保管目的において適切な枚数のソフトウェアの複製を作成することができます。

第4条。更新。元のソフトウェアを更新または補足するために、Synology のウェブサイト www.synology.com（以下「ウェブサイト」）、または Synology が示すその他の方法で提供されたソフトウェアは、かかる更新や補足に別途ライセンス要項が付帯されている場合を除き、すべてこの EULA に準拠します。

第5条。ライセンス制限。第1条、2条、3条で制定されるライセンスは、ユーザーが注文および購入した製品の定める範囲で適用され、そのソフトウェアに対するユーザーのすべての権利を提示します。Synology は、本書において明確にユーザーに与えられていないすべての権限を保有します。前述の規定にもかかわらず、第三者に対して次のような行為を行うことは禁止されています。(a) 製品に関する目的以外で本ソフトウェアを使用すること、(b) 本ソフトウェアの使用許可、配布、リース、レンタル、転写、譲渡、またはソフトウェアをその他の方法で提供すること、(c) 本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、または本ソフトウェアのソースコードまたは機密情報を得るための試みを行うこと、ただし、この制限に関わらず準拠法によりそのような行動が明確に許可されている場合は除く、(d) ソフトウェアの派生物を採用、修正、改造、翻訳、または作成すること、(e) ソフトウェアまたは製品の著作権表示またはその他の所有権表示を取り除く、修正する、隠すこと、(f) 製品またはソフトウェアのコンポーネント、特徴、機能へのアクセスを Synology が管理するために採用するあらゆる方法を回避、または回避しようとする。第5条で規定した制限については、Synology NAS サーバーがホストするサービスをあなたが第三者に対して商用を目的として提供することを禁止するものではありません。

第6条。オープンソース。本ソフトウェアには、GNU General Public License（「GPL Components」）（<http://www.gnu.org/licenses/gpl.html> 参照）の下で Synology にライセンス許可が与えられているコンポーネントが含まれる場合があります。GPL の条件は、本書の内容が GPL コンポーネントの使用に関して GPL の要件と衝突する場合に GPL コンポーネントに対してのみ適用され、そのような場合、ユーザーは該当コンポーネントの使用について GPL に準拠することに同意するものとします。

第7条。監査。Synology は、本書の利用規約に関するユーザーのコンプライアンスを監査する権利を有します。ユーザーは、Synology に施設、設備、帳簿と記録、文書へのアクセスを許可し、Synology または Synology が認めた代理人の監査を促進させるために適切な協力を行うことに同意するものとします。

第8条。所有権。本ソフトウェアは、Synology およびライセンス契約者の価値のある資産であり、著作権法およびその他の知的財産法および条約で保護されています。Synology またはそのライセンサーは、ソフトウェアに対するすべての権利、権限、利権を有しています。これには著作権やその他の知的所有権を含みますがこれだけに限りません。

第9条。制限付き保証。Synology は、ウェブサイトで規定されている場合を除き、お住まい地域の法律が認める期間、Synology が公表するソフトウェア仕様を実質満たしていることについて制限的に保証します。Synology は、商取引上の合理的な方法で、Synology 独自の決断により、ソフトウェアの不具合を修正する、または前述の保証に準拠しないソフトウェアを交換する、のいずれかを行います。ただし、この場合、保証期間内にユーザーが Synology に対して不具合を書面にて通知する必要があるとします。前述の保証は、以下を起因とする不具合には適用されません。(w) 本書に従って使用、複製、配布、公開しない場合、(x) Synology 以外の者によるソフトウェアのカスタマイズ、修正、その他の改造が行われた場合、(y) Synology 以外の者により提供された製品、サービス、またはその他の事柄とソフトウェアを併用した場合、または (z) 本書の規定に従わない場合。

第10条。サポート。第9項で示した期間中は、Synology は、ユーザーにサポートサービスを提供します。期間後のソフトウェアに対するサービスは、書面による要望がある場合において Synology により提供される場合があります。

第11条。免責事項。

上記に明記されている場合を除き、ソフトウェアはエラーも含め、「現状のまま」提供されます。SYNOLOGY およびそのサプライヤーは、ソフトウェアに関して商用性、特定目的への適合性、ソフトウェアの使用以外に、明示された、示唆された、法的、法律により発生したすべての保証に対して免責される権利を持つものとします。上述の条件に限らず、SYNOLOGY はソフトウェアにバグ、エラー、ウイルス、その他の結果が含まれていないことを保証しません。

第12条。特定損害の放棄。いかなる場合も SYNOLOGY およびそのライセンサーは、ソフトウェアの使用または使用しないこと、または本書に規定される、または本書に関連して発生する偶発的、間接的、特別、懲罰的、結果的、または同等の損害（データ、情報、収益、利益またはビジネスの喪失を含みそれに限定されない）を補うための費用について、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、SYNOLOGY がその損害の可能性について知らされている場合においても一切の責任を負いません。

第13条。責任の制限。本ソフトウェアの使用、または使用できないことから生じる、または関連する、または本書または本ソフトウェアに記載される、または関連する SYNOLOGY およびそのサプライヤーの責任は、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、負う損害の額面に関わらず、製品の購買に実際に費やした額面に限定します。前述の保証の放棄、特定損害の放棄、および責任の制限は、準拠法の許す範囲で最大限に適用されます。州および / または管轄の法律によっては、暗示保証の除外または特定損害の除外または制限を許可していない場合があります。本書に適用されるそれらの法律の許す範囲で、上述の除外および制限がユーザーに適用されない場合があります。

第14条。輸出規制。本ソフトウェアは、米国の輸出規制の対象です。ユーザーは、米国輸出管理規則を含みこれに限定されない、本ソフトウェアに適用されるすべての準拠法および規定を準拠することに同意したと見なされます。

第15条。契約の終了。その他の権利を侵害することなく、ユーザーが本書の利用規約に従わない場合は、Synology が本書の契約を終了する場合があります。その場合、ユーザーは本ソフトウェアの使用を止め、本ソフトウェアのすべてのコピーおよびそのすべてのコンポーネントを破棄する必要があります。

第16条。譲渡。

製品にアプリインストールされていた場合を除き、第三者にあなたの権利を譲渡したり、割り当てたりすることはこの EULA において禁止されています。前述の制約に違反するそのような移譲または譲渡は、無効です。

第17条。準拠法。現地の法律で明示的に禁止されていない限り、この EULA（エンドユーザー使用許諾契約）は、接触法の原則に反するかどうかに関係なく、Synology Inc. が法人化された国の国内法により支配され、それに従い解釈されるものとします。

第18条。紛争の解決。本 EULA から生じる、あるいは本 EULA に関連するすべての紛争、論争、あるいは請求は、Synology Inc.

が法人化された国の仲裁法および関連する施行規則の手続きに従って、3 人の中立な仲裁者により実施される仲裁により、独占的に、最終的に解決されるものとします。このような場合における仲裁は、専らあなたと Synology との間の紛争のみに限定されます。この仲裁、またはその一部は、その他いずれかの仲裁に統合されることはなく、集団または集団訴訟ベースでは実施されません。仲裁は台北で実施されるものとし、仲裁手続は英語で実施されるか、あるいは双方の当事者が合意する場合には、北京語で実施されるものとします。仲裁裁定者は最終的で、当事者を拘束するものであり、司法管轄権を持つ裁判所において強制力を持ちます。この条項がない場合、あなたは裁判所を通じて紛争の訴訟を起こす権利を有しており、これには、集団または集団代表ベースでの請求を要求する訴訟の権利が含まれていることをあなたは理解していますが、あなたは明示的および意図的にこれらの権利を放棄し、この第18条に従って、拘束力のある仲裁を通じて紛争を解決することに同意したことになります。本条のいかなる部分も、Synology が差し止めによる救済またはその他の権利および Synology の知的財産権に関連する本書の条項への不履行またはその脅威に対する法律または衡平法における救済手段の要求を禁止または制限しないこととします。

第19条。弁護士費用。本 EULA におけるいかなる仲裁、調停、その他の法的行為、または権限または救済手段を行使する際、勝訴した当事者は、他の救済措置に加えて、その費用および適切な弁護士料金を回収する権利があります。

第20条。契約の分離。本書に、管轄裁判所で無効、不法、または法的強制力がないと判断された条項がある場合においても、本書の残りの部分は有効に存続します。

第21条。完全合意。本書は、本ソフトウェアおよび本書の対象物について Synology とユーザー間の完全合意を制定し、書面または口頭に関わらず、すべての事前および同時期の了解事項および合意に優先します。本書の条項に対する訂正、修正、または権利放棄は、実施する当事者が署名する法的文書で制定されていない限り、拘力がありません。

この EULA のオリジナルは英語版であり、これはその日本語版です。英語版と翻訳語版の間に相違がある場合は、英語版が優先となります。

SYNOLOGY, INC. 限定製品保証

この翻訳は情報提供のためのものです。差異がある場合は、英語版を有効とします。

本限定保証（「保証」）は、SYNOLOGY, INC. および SYNOLOGY AMERICA CORP を含む関連企業（総称して「SYNOLOGY」）の製品（以下に定義）に適用されます。ユーザーは、製品パッケージを開けるおよび/または製品を使用することにより本保証の条件を承諾し、同意したと見なされます。本限定保証は、エンドユーザー使用許諾契約書の対象となる製品に含まれるソフトウェアには適用されませんが、エンドユーザー使用許諾契約書の対象となりますのでご注意ください。SYNOLOGYは、カスタマに事前の通知を行うことなく、本製品保証の調整および/または変更を行う権利を留保します。本保証の条件に同意しない場合は、製品を使用しないでください。その場合は、製品を購入した販売店に製品を返却し、販売店の返却条件に従って返金を求めてください。

SYNOLOGY

の保証サポートは、すべての国でご利用いただけるわけではありませんのでご注意ください。また、SYNOLOGY は、製品を最初に購入した国でそのようなサポートを要求する場合、この限定保証サポートの提供を拒否する場合があります。製品が最初に購入された国は、SYNOLOGY の内部記録に基づいて決定されるものとします。

地域の消費者保護法

適用される地域の消費者保護法並びに規則の対象となる消費者に対し、本保証で与えられる権利は、かかる消費者保護法並びに規則で定められるすべての権利および救済手段に加えられます。

第 1 条 製品

(a) 「製品」は、新品または補修済製品を指します。

(b) 「新製品」は、カスタマが正規販売店または代理店で購入した元のパッケージに含まれる Synology ブランドのハードウェア製品および Synology ブランドのアクセサリを意味します。「新製品」は、[製品サポートステータス](#) でご覧いただけます。

(c) 「補修済製品」とは、Synology の関連会社、正規販売店または代理店が補修したすべての Synology 製品を意味し、「現状のまま」または「保証なし」で購入された製品は含まれません。

(d)

「スベアパーツ

」とは、製品にインストールまたは組み込まれているまたは取り付けされているパーツ、アクセサリ、コンポーネント、その他の機器を意味します。

(e) その他の定義：「カスタマ」とは、Synology または Synology

の正規販売店または代理店から製品を購入した、最初の人物または団体を示します。「オンライン ショップ」とは、Synology または Synology の関連会社が運営するオンライン

ショップを意味します。「ソフトウェア」とは、カスタマが購入した、ウェブサイトからダウンロードした、または Synology の製品にプリインストールされていた Synology の保有するソフトウェアで、ファームウェア、関連する媒体、画像、アニメーション、動画、オーディオ、テキスト、およびアプレットが組み込まれているソフトウェアまたは製品、そのソフトウェアに対する更新およびアップグレードが含まれます。

第 2 条 保証期間

(a) 「保証期間」：保証期間は、カスタマが提示する購買領収書または請求書に記されている購入日に開始され、各新製品に対する保証期間の終了日に終了します。各新製品に対する保証期間は、[製品サポートステータス](#) で取得できます。スベアパーツに対しては、通常使用での保証期間は製品購入日より1年（システムドライブに対しては5年）となります。補修済製品または修理済部品に対しては、保証期間は交換する製品の保証期間の残り、または製品の交換または修理日から90日のいずれかが長い方になります。上記の保証期間は、「現状のまま」または「保証なし」で購入された旨が示されている製品には適用されません。製品の購入を示す正規のレシートまたは製品の請求書が提示されない場合、あるいは明らかに誤っているまたは改ざんされている場合は、提示された製品の保証期間はSynologyが持つ記録による製造日から始まるものとします。

(b) 「延長保証期間」：カスタマが購入したEW201/EW202または第1条(b)項で指定された新製品に対する延長保証Plusオプションサービスに対しては、保証期間は2年に延長されます。EW201/EW202については、適用される製品モデルおよび利用可能な地域が [EW201/EW202 延長保証](#) でご覧いただけます。延長保証Plusについては、適用される製品モデルおよび利用可能な地域が [Extended Warranty Plus](#) でご覧いただけます。カスタマはオプションサービスのいずれか1つをお選びいただけます。

(c) 「保証期間の即時終了」。Synology

Driveについては、保証期間は次の状況のいずれかが発生した時点で直ちに終了します。(a)

ソリッドステートドライブの場合、その [寿命消耗インジケータ](#)

が、購入した製品に取り付けられたドライブの「製品仕様」で指定された制限と等しいかそれ以上、(b) すべてのドライブ製品について、その温度記録、購入した製品に付属する「製品仕様」で指定されているドライブの動作温度制限と等しいかそれ以上。

第3条 制限付き保証と救済手段

3.1 制限保証 第3.2項に従って、Synologyは、保障期間中、各製品について (a) 製造上の材料不良がないこと、(b) 正常な使用において Synology の公開仕様に従って正しく機能することをカスタマに保証します。かかる制限保証は、本製品に付随またはカスタマが購入する、本製品と共に提供されるエンドユーザー使用許諾契約書の対象となるソフトウェアには適用されません。Synology は、「現状のまま」または「保証なし」で販入された製品に対して一切の保証を行いません。

上記限定保証は譲渡不可であり、Synology の関連会社、代理店、および Synology が認定した販売店から直接購入したされ、さらにお客様にのみ提供されます。本書で規定する保証は、カスタマが本製品を第三者に販売または譲渡した時点で終了します。

3.2

除外事項

前述の保証および保証義務は、次の場合は適用されません：(a) 製品、仕様または関連資料に指定または説明されていない方法でインストールまたは使用された、または何らかの方法で誤用、悪用、損傷した製品、(b) 事故、火災、液体接触、地震、その他の外的要因または不適切な環境での製品の使用によって損傷した製品、(c) Synology の許可なしに分解された製品、(d) 通常の摩耗によって引き起こされる、または製品の正常な老化による外的損傷のある製品、これには、材質または仕上りの欠陥によって発生した場合を除く、ポートの傷、へこみ、プラスチックの破損を含み、これらに限定されない、(e) シリアル番号が製品から削除または汚されたため、識別できない製品、(f) Synology が顧客に提供した訂正、修正、強化、改善、その他の更新をカスタマが実施していない、または第三者が提供する修正、変更、強化、改善、その他の更新をカスタマが実装、インストール、または使用したことによる破損または故障がある製品、(g) 製品が設計されているハードウェア、ソフトウェア、またはその他のアクセサリ以外の Synology が提供していないアイテムをインストールまたは使用したこと起因する破損や故障がある、または互換性がない製品。

上記の各状況は、Synology による本製品の的外観および機能の検査および検証の対象となります。Synology は、上記の状況下で本製品に対する第3.3項に記載されている製品の修理、技術サポート、製品交換を含むがこれらに限定されない保証サービスの提供を拒否する場合があります。

3.3 保証サポートと唯一の救済手段 カスタマが以下に示す方法で適切な保証期間内に第3.1

項で制定する保証の不具合を通知した場合、Synology が該当する不具合を検証した後、Synology が Synology の独自判断で以下を行います。第3.4項に従って製品の完全な返却が行われた後に、(a) 商業的に適切な方法で製品を修理する、(b) 技術サポートを提供する、または、(c) 不具合のない製品または部品と交換します。前述は、第3.1

項の保証不履行または製品に対するその他の不具合または欠陥に対する Synology の完全な責任であり、カスタマの唯一かつ非排他的な救済手段です。カスタマは、本製品の不具合に対する Synology の診断と検証を適切に支援しなければなりません。Synology 製品またはそのバックアップに保存されているデータの救済として保証サポートは適用されません。カスタマは、本製品を Synology に返却する前に、保存したデータのバックアップコピーをとるものとします。Synology は、保証サービスの実施中に本製品内の情報やデータをすべて削除することがあり、そのデータの損失について一切の責任や義務を負いません。さらに、カスタマは、Synology がブリーインストールされていない取り外されていないコンポーネントの紛失に責任を負わないため、アダプターカード、メモリ、ハードディスクドライブまたはソリッドステートドライブなどブリーインストールされていないアクセサリを取り外す必要があります。

3.4 返却保証請求を行う場合、カスタマは第3.4項に従って完全な製品を Synology

に返却する必要があります。返品された製品は、(a) 分解された (Synology の指示の場合は除く)、(b) シリアル番号が削除された、または汚されて識別できない、または (c) 不適切な梱包により返品途中で損傷を受けた (傷や変形を含むがこれらに限定されない) 場合は受け取りが拒否され、カスタマの費用でカスタマに返されます。製品は Synology から受け取ったのと同じ状態で、Synology が指定する住所に、貨物前払いで、その内容を保護するのに十分な包装を行った上で返品する必要があります。カスタマの場所によっては海外発送が必要になり、カスタマは関税、通関手続き、その他交換サービスに関わるすべての手数料を負担するものとします。返却する品物が Synology に適切に配達されるまで、品物に対する保険および損失や損傷はカスタマの責任となります。

3.4.1 一般交換サービス 第3.3項に基づくカスタマによる製品返品は、Synology

の現在の交換手続きに従って、購入領収書または請求書を提出する必要があります。交換手続きに関する詳細は、[Synology 製品の保証請求を行うにはどうすればよいですか？](#) でご覧いただけます。

3.4.2 延長保証Plusサービス*** (カスタマが購入した延長保証Plusのみに適用)*

(a) **標準直接交換 サービス：標準直接交換サービスに関して、カスタマは、Synology によって認められた不適合製品を指定の返却サービスセンターに、経費をカスタマが負担した上で返却しなければなりません。返却は、Synology の指定した指定の返却サービスセンターで不適合製品が受け取られるまでは発送されません。
(b) 先出し直接交換 サービス：先出し直接交換サービスに関して、Synology は、カスタマが不適合製品を返却する前に、カスタマが指定した住所に交換製品を発送します。カスタマは、Synology によって認められた不適合製品を、対応する返却サービスセンターにカスタマの負担で、申込みが受け付けられた時点から28日以内に返却しなければならず、保証のためにクレジットカードの承認を提出しなければなりません。クレジットカードの承認は、Synology がカスタマが返却した不適合製品を受け取った後にキャンセルされます。カスタマが不適合製品を28日以内に返却しなかった場合は、Synology はカスタマのクレジットカードから当該保証分を全額回収する権利があり、当該不適合製品および交換品のシリアル番号に関連したすべてのサービスを無効にします。さらに、Synology

はその後の関連する技術サポートの提供を拒否する権利を留保します。前述の施策は、これに起因するSynologyの法的権利には影響を及ぼさないものとします。

3.5 Synology による新品または補修品との交換3.1 項に従って本保証で Synology が製品交換を選んだ場合、Synology は、3.4 項に従って返品された不適合製品を受領後、その製品の保証に適合するかを Synology が確認した上、Synology の負担で Synology の選択した配送方法により交換製品を発送します。補修品をカスタマに返送する前に、Synology では、会社の品質基準に厳密に準拠していることを確認しています。補修品の一部は、特定の汚れ、傷、またはその他の軽微な消耗が伴うものとします。一部の国においては、Synology は独自の判断により、特定製品に Synology 交換サービスを適用する場合があります。カスタマが返却した不適合製品を受領した後で、Synology は交換製品を出荷します (「Synology 交換サービス」)。

3.6 免責事項本書に制定する SYNOLOGY の保証、義務、責任、およびカスタマの救済手段は、非排他的かつ代用であり、明示または暗示に関わらず、法律またはその他の原因により生じる、以下を含みそれに限定されない本保証の下で提供される製品、ソフトウェア付属の文書、およびその他の品物またはサービスに関連して SYNOLOGY のその他のすべての保証、義務、責任およびカスタマの SYNOLOGY に対するその他の権利、主張、救済手段を放棄、譲渡、拒否します。(A) 市販性または特定目的または使用との適合性に対する暗示保証、(B) 履行の過程、取引の過程、または商慣習により生じる暗示保証、(C) 侵害または不正利用に対する請求、または (D) 不正行為 (過失、厳格責任、製品責任またはその他の理論に基づくかどうかに関わらず) に対する請求。SYNOLOGY は、SYNOLOGY の製品に保管されたデータまたは情報が安全であり、データ消失の危険がないことを保証したり具体的に放棄したりしません。SYNOLOGY は、カスタマに製品に保管するデータをバックアップするなど、適切な対策を実施するよう勧めています。州/司法管轄区によっては、暗示保証の制限を許可しないため、上述の制限がカスタマに適用されない場合があります。

3.7 延長保証Plusの制限(a)

カスタマは、新しい本製品の当初の購入日後90日以内に延長保証Plusの購入を完了しなければなりません。(b) Synology は、延長保証Plusを特定の地域でのみ提供し、カスタマは、購入処理の間に本サービスを有効にする地域を選ばなければなりません。カスタマが延長保証Plusサービスを、選択した地域以外の地域から要求した場合、Synology はその独自裁量で延長保証Plusサービスを提供しない場合があります。(c) 適用例外：延長保証Plusは、対象国の海外の部門、海外の領土、海外の自治区、適用される国や地域の本島を除く島には適用されません。

第 4 条 責任の制限

4.1

不可抗力

適切に制御できない原因または条件 (カスタマの作為または不作為を含みこれに限定しない) により本保証が定める義務の不履行または遅延が発生した場合、Synology は、本保証に対して一切責任を負わない、または本保証の違反または不履行と見なされません。

4.2 特定損害の放棄いかなる場合も SYNOLOGY およびそのサプライヤは、製品、付属の文書またはソフトウェア、および本書に基づいて提供されるその他の品物またはサービスの使用または使用しないことにより発生する偶発的、間接的、特別、懲罰的、結果的、または同等の損害 (データ、情報、収益、利益またはビジネスの喪失を含みそれに限定されない) を補うための費用について、契約、不法行為 (過失を含む)、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、SYNOLOGY がその損害の可能性について知らされている場合においても一切の責任を負いません。

4.3

責任の制限

本製品、付属の文書またはソフトウェア、および本保証に基づいて提供される品物またはサービスの使用、または使用できないことから生じる、SYNOLOGY およびそのサプライヤの責任は、契約、不法行為 (過失を含む)、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、負う損害の額面に関わらず、製品の購買に実際に費やした額面に限定します。前述の特定損害の放棄、および責任の制限は、準拠法の許す範囲で最大限に適用されます。州および / または管轄区の法律によっては、暗示保証の除外または特定損害の除外または制限を許可していない場合があります。本製品に適用されるそれらの法律の許す範囲で、上述の除外および制限がカスタマに適用されない場合があります。

第 5 条 雑則

5.1 所有権本製品および製品付属のソフトウェアおよび説明書には、Synology

および第三者サプライヤおよびライセンサーの所有権および知的所有権が含まれています。Synology は、製品のすべての権利、権限、知的所有権を保有および保留します。製品、付属のソフトウェアまたは説明書、および本保証に基づいて提供されるその他の物品に含まれる、または対する権利、所有権または知的所有権は、本保証の下でカスタマに移譲されません。カスタマは、(a) Synology または Synology の正規代理店または販売店が提供するソフトウェアに付属する Synology エンドユーザー用の使用許諾契約書の利用規約に準拠し、(b) 製品またはそのコンポーネント、付属のソフトウェアのリバースエンジニアを試みる、またはその他の方法で Synology の知的所有権に不適切に回避、または違反してはいけません。

5.2 譲渡カスタマは、本書に基づく自身の権利を、直接、法律の運用または他の方法により、Synology から事前に書面による承諾を得ずに譲渡してはいけません。

5.3

追加条件なし。

本保証で明確に許可した場合を除き、他の当事者が発注書、領収書、承認書、確認書、通信、その他の方法で作成した本保証のあらゆる条項、条件、条項と衝突するその他の規定に対して、両当事者が制約される、当事者の片側が特別に対象となることはありません。ただし、各当事者が書面においてそのような条項に特別に同意している場合は除きます。また、本保証が製品に関連する当事者と締結した別の契約書の利用規約と衝突する場合、他の契約書が本保証の条項に優先されることを特別に言及している場合を除き、本保証が優先されます。

5.4

準拠法

地域法で明確に禁止する場合を除き、本保証は、接触法の原則に反するかどうかに関係なく、アメリカ合衆国に居住しているカスタマに対しては米国ワシントン州の法律に、アメリカ合衆国に居住していないカスタマに対しては中華民国(台湾)の法律に準拠します。1980年に採択された国際物品売買契約に関する国連条約またはその後継は適用しません。

5.5 紛争の解決本製品またはカスタマ間の関係に対して Synology が提供する本保証、製品またはサービスから生じる、または関連する、いかなる紛争、論争、または主張も、米国に住居するユーザーと Synology は、米国仲裁協会 (American Arbitration Association) の現行の商事規則に従って単独かつ最終的に仲裁解決されるものとします。ユーザーが米国以外に住居する場合は、以下を参照ください。仲裁は単一の調停者の前で実施され、カスタマと Synology の間の紛争のみに限定されます。仲裁または仲裁の一部は、その他の仲裁に合併されず、集団または集団代表ベースでは実施されません。仲裁は、書類の提出、電話、オンラインまたは当事者の要請により、調停者の決定した個人により、米国ワシントン州キング郡で実施されるものとします。米国または非米国の仲裁またはその他の訴訟では、勝訴した当事者は、その当事者が支払う仲裁費用を含むすべての費用や妥当な弁護士料金を受け取ることになります。そのような仲裁の手続きで行われた決定は最終的で、当事者を拘束するものであり、その結果に従って適格な司法管轄権の裁判所において裁定が行われる可能性があります。この条項がない場合、カスタマは裁判所を通じて紛争の訴訟を起こす権利を有しており、これには、集団または集団代表ベースでの請求を要求する訴訟の権利が含まれていることをカスタマは理解していますが、カスタマは明示的および意図的にこれらの権利を放棄し、第 5.5 条に従って、拘束力のある仲裁を通じて紛争を解決することに同意したことになります。米国以外のカスタマの場合、紛争は R.O.C. 仲裁法および関連施行規則の手順に従って 3 人の中立調停者により実施される仲裁により、最終的な解決が行われます。仲裁は台湾 (R.O.C.) の台北で行われ、仲裁の手続きは英語で行われ、両当事者が同意する場合は、北京語で行われるものとします。仲裁裁定者は最終的で、当事者を拘束するものであり、司法管轄権を持つ裁判所において強制力を持ちます。本条のいかなる部分も、Synology が差し止めによる救済またはその他の権利および Synology の知的財産権に関連する本保証の不履行またはその脅威に対する法律または衡平法における救済手段の要求を禁止または制限しないこととします。

5.6

弁護士費用

本保証におけるいかなる仲裁、調停、その他の法的行為、または権限または救済手段を行使する際、勝訴した当事者は、他の救済措置に加えて、その費用および適切な弁護士料金を回収する権利があります。

5.7

輸出規制

本製品は、米国の輸出規制の対象です。ユーザーは、米国輸出管理規則を含みこれに限定されない、本製品に適用されるすべての準拠法および規定を準拠することに同意したと見なされます。

5.8

契約の分離取扱条項

本保証に、管轄裁判所で無効、不法、または法的強制力がないと判断された条項がある場合においても、本保証の残りの部分は有効に存続します。

5.9 完全合意本保証は、本件に関する Synology とカスタマとの間のすべての同意を制定し、あらゆるおよびすべての事前同意に優先します。本保証の条項に対する訂正、修正、または権利放棄は、実施する当事者が署名する法的文書で制定されていない限り、拘力はありません。

5.10 延長保証Plusサービスの支払いと終了(a)

Synologyによる注文の確認後、カスタマはすべての諸費用と税金を直ちに支払うものとします。Synologyは、資格がない、あるいは未成年のカスタマへの延長保証Plusサービスの提供を拒否する権利を留保します。(b) 当該製品購入後30日以内に延長保証Plusサービスを使用しないカスタマは、購入から30日以内にテクニカル サポート チケットで終了の要求を提出できます。

FCC Declaration of Conformity

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI — A

Declaration Letter of REACH & RoHS Compliance

About REACH

In June 2007, the European Union Regulation (EC) 1907/2006 concerning the Registration, Evaluation, Authorization and Restriction of Chemicals (REACH) was first released. Under this Regulation, manufacturers are required to gather information on the properties of their chemical substances, which will allow their safe handling, and to register the information to European Chemicals Agency (ECHA). The aim is to improve the protection of human health and the environment through the better and earlier identification of the intrinsic properties of chemical substances.

About RoHS

RoHS Directive (EU Directive 2002/95/EC) was issued in 2002, restricted the use of the six chemicals lead, cadmium, mercury, and hexavalent chromium, as well as flame retardants polybrominated biphenyls (PBBs) and polybrominated diphenyl ethers (PBDEs). Under this directive, manufacturers are required to replace these chemicals in their products with less hazardous alternatives.

Then RoHS 2.0 (Directive 2011/65/EU) has replaced Directive 2002/95/EC since January 3, 2013. In 2015, EU commission publishes Directive (EU) 2015/863 to amend Annex II to EU RoHS 2 (Directive 2011/65/EU) to add 4 phthalates (DEHP, BBP, DBP and DIBP) onto the list of restricted substances from 22 July 2019.

REACH and RoHS Compliance

Synology meets all requirements of the REACH Regulation and is compliant to all implemented RoHS type regulations worldwide. To the best of Synology's knowledge, all Synology products in production (including finished



products, spare parts, and packaging materials) are in compliance with the requirements of the Regulation and/or Directives. Synology continues to monitor, influence, and develop our processes to comply with any proposed changes to the Regulation and/or Directives.